Fe

ネットワーク対応 UPS 管理/モニタカード



Web/SNMP カード ユーザーズ・ガイド

INR-HG5497j

警告表示について

本取扱説明書では安全上の注意点を、以下のマークとともに表示しています。

▲ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、 又は重傷を負う可能性があることを示しています。
▲ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性 があること、及び物的損害のみが発生する可能性があることを示して います。
重要	この表示は使用する時に注意して頂きたいことを示しています。

<u>ハイセイフティ用途について</u>

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないで下さい。ハイセイフティ用途に途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談下さい。

電波障害の防止について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)が制定するクラスA情報装置に対する規制条件に準拠しています。この規制条件は、商工業地域におけるデータ処理装置、及び事務用電子機器に電波妨害を発生しないように定められています。

従って、住宅地域またはその隣接した地域でご使用になると、ラジオやテレビジョン受信機等に電波妨害を発生させる原因となることがあります。この場合には、使用者が適切な対策を 講ずるよう要求されることがあります。 本製品をご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。

ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して富士電機株式会社(以下富士電機といいます。)との間で契約が成立したものとさせていただきます。

- 1. 本製品およびその複製物に関する権利はその内容により富士電機または富士電機への提供者に帰属します。
- 2. 富士電機は、本製品のユーザ(以下ユーザといいます。)に対し、本製品に対応する富士電機製品を 利用する目的で本製品を使用する非独占的権利を許諾します。
- 3. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品がユーザの特定の目的のために適当であること、も しくは有用であること、または本製品に瑕疵がないこと、その他製品に関していかなる保証もいたしません。
- 4. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品の使用に付随または関連して生ずる直接的または 間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
- 5. 本製品の使用による金銭上の損害、損失利益につきましては一切その責任を負いません。
- 6. 本製品の誤記等により生じた損害及び付随的損害については一切その責任を負いません。
- 7. ユーザは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本製品の全部または 一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
- 8. 富士電機は、本製品について第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切その責任を負いま せん。
- 9. ユーザが、本契約に違反した場合には、本契約は直ちに終了するものとします。本契約の終了後は、 ユーザは、本製品を使用してはいけません。
- 10. 富士電機は、改良のため、本製品の内容を予告なく変更することがあります。

目次

第1章 Web/SNMP カードの特徴	1
1.1. WEB による機能の充実	
1.2. SNMP エージェント機能	
1.3. シャットダウンソフトウェア(NETSHUT)によるマルチサーバシャットダウン機能	1
1.4. 100BASE-TX に対応	1
第2章 システム構成例	2
第3章 Web インターフェイス	4
3.1. モニタ画面の呼び出し	
3.2. 画面構成	6
3.2.1. 上フレーム	6
3.2.2. 左フレーム	7
3.2.3. 右フレーム	
3.3. UPS モニタ画面	9
3.3.1. UPS モニタリングメイン画面	
3.4. イベントログ	
3.4.1. イベントログの保存	
3.4.2. イベントログのクリア	
3.5. データログ	14
3.5.1. データログの保存	
3.5.2. データログのクリア	
3.6. UPS 管理画面	
3.6.1. 一般設定画面	
3.6.2. IP アドレス設定	
3.6.3. ユーザ設定画面	
3.6.4. SNMP 設定画面	
3.6.5. e-mail 通知設定画面	
3.6.6. Netshut 設定	
3.6.7. イベント通知設定画面	
3.6.8. 時刻設定画面	
3.6.9. ユーザ名/パスワード設定画面	
3.7. 言語設定	
3.7.1. 設定手順	
第4章 SNMP インターフェイス	41
4.1. 設定方法	
第5章 FAQ	42
5.1 WED エータ画面が表示されない	49
5.1. WEB エーク回面が忍かされない。	,
5.3 たフレームに"既に他のユーザがロガイン」 ていまオ"と表示される	
5.4 WFR $/$ SNMPカードのIPアドレスを確認」たい場合	
5.5. ネットワーク機器との LINK DOWN が 超発する	
56 一部の携帯電話等でメールを受信すると文字化けが登生する	
5.7 長期間 UPS を停止させた後の WEB/SNMP カード内部時刻について	
衛6音 田茲治旧	
尔マキ /川印ルウ」	

各部の名称と機能	49
初期設定方法	
シリアル(COM ポート)通信による初期設定	
Maker's setting	57
リモートメンテナンス設定	
イベントログ記録内容	59
Web/SNMP カード対応 JEMA- MIB 一覧	61
対応 JEMA -MIB 一覧	61
対応 JEMA -MIB(TRAP)一覧	
MIB-Ⅱ 対応一覧	68
シャットダウンソフトウェア(Netshut)について	72

第1章 Web/SNMP カードの特徴

1.1. Web による機能の充実

- ●イベント発生時のメール等によるユーザへの通知
- ●データ及びイベントのロギング
- ●UPS 運転状況や状態値の取得及び表示

1.2. SNMP エージェント機能

- ●富士電機 MPV 等の SNMP 管理ソフトによる UPS の管理
- ●イベント発生時のトラップの送信
- ●UPS 管理情報として JEMA-MIB(日本電機工業会)を採用
- 1.3. シャットダウンソフトウェア(Netshut)によるマルチサーバシャットダウン機能

●Netshut(ネットシャット)によるマルチサーバシャットダウン

1.4. 100BASE-TX に対応

●EtherNet:10BASE-T、100BASE-TX 自動認識

第2章 <u>システム構成例</u>

システム構成例を以下に示します。



図 2-1 システム構成例

WWW クライアントによる UPS、Web/SNMP カードの管理

標準の Web ブラウザがインストールされているクライアント(WWW クライアント)は、ネットワーク に接続 されている Web/SNMP カードとそのカードが実装された UPS を管理することが可能です。WWW クライア ントは Web/SNMP カードが UPS から取得したイベントやデータの表示、データ/イベント・ログ・ファイル の取得と表示等の作業を行うことが可能です。また、WWW クライアントは Web/SNMP カードの IP アドレ ス等の設定とファームウェアのアップデートを行うことが可能です。

なお、Web/SNMP カードは WWW クライアントから Web/SNMP カードに対して ping コマンドを送信した時に応答がある環境でのみ使用することができます。

SNMP による UPS の管理

Web/SNMP カードは SNMP エージェント機能を有しています。UPS 管理情報として、JEMA-MIB に 対応しており、富士電機 MPV (Multi Power View)等の SNMP 管理ソフトをインストールした SNMP マ ネージャによる UPS の管理が可能です。停電等のイベント発生時には、指定した IP アドレスの SNMP マ ネージャにトラップを利用して異常イベントの発生を知らせることができます。トラップはポーリングを待たず にエージェントからマネージャに情報が送信されますので、マネージャにおいてイベント発生時刻の記録を 可能にします。 Netshut によるマルチサーバシャットダウン

Netshut は、同一ネットワーク(TCP/IP)上に存在する複数台のサーバのOSシャットダウンを可能にしま す。UPSの出力に複数台のサーバを接続しており、各サーバが同一ネットワーク上に存在する場合、各 サーバに Netshut をインストールしてサービス(デーモン)として実行することで、それらのサーバをUPSの 出力と連動してシャットダウンすることができます。Web/SNMP カードの各サーバへのシャットダウンの設定 は WWW クライアントから可能です。

Web/SNMP カードは httpd (Web サーバ)、SNMP エージェント、e-mail クライアント、Netshut 機能の 選択により、多彩な運用に適用可能となっております。

システム	Web 機能	SNMP 機能	Netshut 機能
UPS の状態をモニタリングしたい	0	0	
UPS の状態を富士電機 MPV 等で監視したい		0	
UPS の異常をリアルタイムに知りたい(SNMPトラップ)		0	
UPS の異常を管理者に知らせたい(e-mail)	0		
電源変動のログを見たい。 また、ファイルに保存したい	0		
Web/SNMP カードの動作(イベント)のログを見たい。 また、ファイルに保存したい	0		
停電時サーバ、パソコンの OS シャットダウンしたい	0		0
1台の UPS から電源を共通に受けている全てのサーバを停電 シャットダウンしたい	0		0

第3章 Web インターフェイス

Web インターフェイスでは以下の機能が使用可能です。

- ネットワークの設定
- 状態モニタリング
- イベントログ、データログの表示と保存

重要

Webモニタ画面を使用する際には、お使いのブラウザを最大化にしてください。 設定変更時にブラウザのサイズ変更は行わないで下さい。 ブラウザの"戻る"ボタンや BackSpace キーで画面の切り替えは行わないで下さい。

重要
Internet Explorerのセキュリティレベルを中以上に設定しているときに表示される情報送信の確認画面は、"今後このメッセージを表示しない"にチェックを入れて選択し使用してください。
Internet Explorer
イントラネット へ情報を送信するときに、その情報をほかの人から 読み取られる可能性があります。続行しますか?
▼ 今後、このメッセージを表示しないΦ
<u>(低い役)</u> いいえ(N)
今後このメッセージを表示しないにチェックを入れて、はい(Y)をクリックすると 以後このメッセージは表示されません。
標準のWebブラウザがインストールされているクライアント(WWWクライアント)からネットワーク に接続
されている Web/SNMP カードとそのカードが実装された UPS を管理するためには、 <u>WWW クライ</u>
アントから Web/SNMP カードに対して ping コマンドを送信した時に応答がある環境で使用する必
要があります。

	重要
•	Internet Explorer7 以降等のアドオンに対応したブラウザでは、Web モニタ画面が正常に表示されない場合があります。そうした場合は、インストールされているアドオンを無効にして接続して下さい。
•	Web モニタ画面を開いている時に Internet Explorer7 以降等のアドオンの変更は行わないで下さい。
•	Internet Explorer, Netscape Navigator, Firefox 以外のブラウザでは、Web モニタ画面が正常に 表示されない場合があります。そうした場合は、OS(Windows, Linux)にプリインストールされている 標準のブラウザで接続して下さい。

3.1. モニタ画面の呼び出し

モニタ画面を表示するには、Web ブラウザが必要です。

ブラウザのアドレス(場所)欄にWeb/SNMP カードのIP Addressを直接入力し、モニタ画面を呼び出します。





Web/SNMPカードは電源投入後、約3分後に起動が完了してモニタ画面の表示が可能となります。起動が完了する前にモニタ画面を呼び出すと、下図の型式情報収集中という画面が表示されますが、起動が完了すれば自動的にモニタ画面が表示されます。

🚰 http://10.65.11.135/ - Microsoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)	
← - → - ③ 🚱 🖄 アドレス(D) 🙆 http://10.65.11.135/	•
型式がまだ特定されていません。 型式情報収集中です。	Ă

図3-2 型式情報収集中画面

3.2. 画面構成

Web 画面は3つのフレームで構成されます。

🗿 Web/SNMPカード – Microsoft Internet Explorer					
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	お気に入り(4	シッール(T) ヘルプ(H))		
0 · 0 · N 2 🐔	۶ 🖈 ۹	8 🖉 - 🗟	Google	Solution (1)	« •⊙•
アドレス(D) 🍯 http://10.65.11.15	51/monstart.cg	i			*
<u>Web/SNMPカード</u>	UPS	Web Monitoring	Version 20.02.02	IP Address = 10.65.11.151	
UPSモニタ画面 イベントログ	UPSモニタ	マリングメイン画面 :	現在時刻 : 2010年 6 月24日	(木)23時57分	
		いたのであってい	LIPS7000 D/9/15		
データログ			T7P/01P	_	
	HPS供超	推結維器之	COMPLITER SYSTEM A-0	1	
UPS管理画面ログイン用		動作状態	UPS給電中 正常	運転モードの種類	
ユーザ名:		入力雷圧 U-V	200 M		
	እታ	入力電圧 V-W	200 [V]	止常	
パスワード:			200 [V]	直送給雷	
	直流	直流電圧	402 [V]	正常	
		出力電圧 u-n	200 [V]	<i>信席登生</i> バッテリ給電中	
	11 +5	出力電圧 v-n	200 [V]	正常 正常	
		出力電圧 u-v	200 [V]	<u> 終力度発生</u> UPS給電中	
		出力電流u	144 [A]	<i>羟吡焊光生</i> 軽故障	
	шл)	出力電流 ∨	144 [A]	ニュ たみな エ バイバス 給電中	
		出力電流 n	144 [A]	<i>重战 厚 先 生</i> 重 故障	
		出力周波数	50 [Hz]		
		出力負荷率	50 [%]	UPS停止中	
		バックアップ回数	0 (0)		
		盤内温度	0 [°C]		
		バッテリ交換推奨時期	7年 5ヶ月後		
	出力の電圧 ・インバータ! ・バイバス給 となります 電圧および『	、電流、周波数は、UP 給電中:インバータの電 「電中 :バイバスの電り 電流の相表示記号はJE	S動作状態により、 圧、電流、周波数 E、電流、周波数 iC-2410の規定によります		
🙆 ページが表示されました					<u>بر</u> ۲۰

図3-3 モニタ画面

3.2.1. 上フレーム

上のフレームには、Web/SNMP カードのファームウェアのバージョンと Web/SNMP カードの IP Address を表示します。

<u>Web/SNMPカード</u>	UPS Web Monitoring	Version 20.02.02	IP Address = 10.65.11.151
		↑ ファー ムウェアバ・	↑ IP Address
	図3-4 上フレ	/- <u></u>	

3.2.2. 左フレーム

左フレームにはログイン画面を表示します。ユーザ名とパスワードを入力することによってログインを行うこ とができます。ログイン後、このフレームに各設定画面へ移行するためのメニュー(リンク)を表示します。 ユーザ名とパスワードは3.6.9ユーザ名/パスワード設定画面で変更することが可能です。

WebブラウザからのUPSモニタ画面の呼び出しについては、複数のユーザからの同時接続は可能です が、ログインは単一ユーザのみです。誰かがログインしているときに、他のユーザがログインを試みた場合、 排他処理機能が働きログインを拒否いたします。



ログアウト(管理画面終了)

UPS管理画面ログイン用

ユーザ名:

バスワード:

ログイン

Maker's setting

・ユーザ設定 ・SNMP設定 ・e-mail通知設定 ・Netshut設定 ・イベント通知設定

・IPアドレス設定

・一般設定

・時刻設定

・ユーザ名/パスワード 設定

ログアウト(管理画面終了)

Maker's setting

ログイン前の左フレーム

ログイン後の左フレーム

図 3-5 左フレーム

ログイン後に左フレームの UPS 管理画面をクリックすると、各設定項目が表示されます。各設定項目が 表示されている状態で、UPS 管理画面をクリックすると各設定項目が非表示になります。

ログイン、ログアウトについて

UPS管理画面では設定値の排他制御のために、同時に複数人数がログインできない仕組みになっています。そのため正しくログアウト処理を行わない場合、再度ログインできなくなります。



このような状態になる原因には次の操作が考えられますのでご注意ください。

- ログイン中にブラウザを終了する。
- ログイン中にブラウザの更新ボタンを押す。
- ログイン中にブラウザの戻るボタンでログイン前の画面に戻る。

ログアウトするときには必ず「ログアウト」ボタンを押してください。

万が一、再ログインできなくなった場合には自動ログアウトするまでお待ちください。オートログアウト時間 は[UPS 管理画面]の[一般設定](3.6.1一般設定画面)で設定することができます。(初期値は 10 分で す。)

3.2.3. 右フレーム

右フレームには、ログイン後の左フレームで各設定項目(リンク)をクリックすることにより、UPS モニタ画 面や各設定画面を表示します。

右フレームの各画面は設定ボタンをクリックするか、左フレームの項目をクリックすることによる画面の切り 替えが無い場合、所定の経過時間で自動ログアウト致します。オートログアウト時間は[UPS 管理画面]の [一般設定](3.6.1一般設定画面)で設定することができます。

3.3. UPS モニタ画面

UPS モニタ画面は、Web/SNMP カードを実装している UPS の型式によってその表示内容が多少異なります。

3.3.1. UPS モニタリングメイン画面

Web ブラウザのアドレス(場所)欄に Web/SNMP カードの IP Address を入力すると UPS モニタリング メイン画面を表示します。この画面は UPS の動作状態と状態値を表示します。ユーザアカウントを持ってい ない一般ユーザでもこの画面へのアクセスはできます。 UPS の動作状態と状態値は10秒周期で自動更新 するので最新の状態をモニタリングできます。

ァイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り(A	pioner) ツール(I) ヘルプ(出)		
	ペレス(D) 🐻 H	http://10.65.11.135/		
аb/SNMPカード	UPS	Web Monitoring	Version 20.01.26	IP Address = 10.65.11.135
PSモニタ画面	UPSモニタ	マリングメイン画面	見在時刻:2009年 2 月13日	(金)13時26分
ペントログ				
-905		UPS型式名	UPS6000D B/3/1	
		Firmware Version	T78/01B	
	UPS情報	报続機器名	COMPUTER SYSTEM A-01	1
S管理画面ログイン用		動作状態	UPS給電中 正常	運転モードの種類
-5:4:		入力電圧 U-V	200 [V]	UPS運転中 TEM
	入力	入力電圧 V-W	200 [V]	
<u>スワード</u> :		入力電圧 W-U	200 [V]	直送給電
	直流	直流電圧	402 [V]	止芾
		出力電圧 u-n	200 [V]	<u>(高電磁体</u> バッテリ給電中
875		出力電圧 v-n	200 [V]	产电元工 正常
212		出力電圧 u-v	200 [V]	なか 供 Ar th H Ar
		出力電流 u	144 [A]	<i>輕成陣先生</i> 輕散障
	出力	出力電流 v	144 [A]	マンマ かん パイパス 給電中
		出力電流 n	144 [A]	重故障発生
		出力周波数	50 [Hz]	係上中
		出力負荷率	50 [%]	UPS停止中
		バックアップ回数	0 [0]	_
		盤内温度	0 [C]	
		バッテリ交換推奨時期	3年 8ヶ月後	

図 3-6 UPS モニタリングメイン画面

- UPS 型式名 UPS の型式名称を表示します。
- Firmware version UPS の firmware のバージョンを表示します。
- ③ 接続機器名
 UPS が電源を供給している機器の名称を表示します。
 ([UPS 管理画面]の[一般設定] (3.6.1一般設定画面)で設定した値)
- ④ UPS 動作状態(上段:給電状態)
 UPS の給電状態(運転状態)を表示します。
 給電状態として以下の5つがあります。

No.	動作状態	表示色	ブラウザ表示
1	UPS 運転中	緑	UPS給電中
2	直送給電中	黄	バイバス給電中
3	停電発生中	黄	バッテリ給電中
4	UPS 停止中	黄	停止中
5	通信異常	赤	通信異常

⑤ UPS 動作状態(下段:UPS 状態)
 UPS の状態を表示します。
 状態として以下の3つがあります。

No.	UPS 状態	表示色	ブラウザ表示
1	正常	緑	正常
2	軽故障	黄	軽故障
3	重故障	赤	重故障

⑥ 入力電圧

UPS に供給されている電源の電圧を表示します。

⑦ 直流電圧

UPS に接続されているバッテリから供給される電圧を表示します。

- ⑧ 出力電圧
 UPS が出力する電力の電圧を表示します。
- ⑨ 出力電流UPS が出力する電力の電流を表示します。
- 11) 出力周波数UPS が出力する電力の周波数を表示します。
- 出力負荷率
 UPS が出力する電力の定格容量に対する割合を表示します。
- 12 バックアップ回数
 UPS がバッテリ給電を行った回数を表示します
- ・③ 盤内温度
 UPS 内部の温度を表示します。
- ④ バッテリ交換推奨時期バッテリ交換推奨時期までの残り年月を表示します。



3.4. イベントログ

メニューの[イベントログ]をクリックすると、右フレームにイベントログ画面を表示します。ログイン後にイベントログを表示した時は[イベントログクリア]が追加されます。

イベントログ	様存(CSV)	ロク件数:195 前ページ 2/10 次ページ
年月日	時刻	発生イベント
2009-02-14	10:32:15	Web/SNMPの起動(通常起動)
2009-02-14	10:30:19	入力異常発生
2009-02-14	10:28:13	UPS給電開始
2009-02-14	10:28:00	バッテリ容量復活
2009-02-14	10:27:57	バッテリ容量低下
2009-02-14	10:27:55	給電停止
2009-02-14	10:24:41	バイバス給電開始
2009-02-14	10:22:20	バッテリ容量復活
2009-02-14	10:22:15	UPS給電開始
2009-02-14	10:22:10	バッテリ容量低下
2009-02-14	10:21:38	入力異常解除
2009-02-14	10:21:24	バッテリ給電開始
2009-02-14	10:12:10	通信復帰
2009-02-14	10:12:06	通信切断

(***)1日后保友(***)0 日后件数:105 業まージ

図 3-7 イベントログ表示画面(ログイン前)

イベントログクリア イベントログ保存(CSV) ログ件数:209 前ページ 2/11 次ページ

年月日	時刻	発生イベント

図 3-8 イベントログ表示画面(ログイン後)

本画面は上下 2 つのフレームから構成され、上フレームには[イベントログ保存(csv)]リンク、[イベントログ クリア] リンク(ログイン後のみ)、[前ページ]リンク、[次ページ]リンクとログ件数、現在開いているページ数 (n/m)を表示します。下フレームにはイベントログの内容を表示します。

イベントログは800件保存することができます。800件を越えると古いイベントログから順次上書きされま す。イベントログに記録される内容は、[イベント通知設定]で行います。

設定方法は3.6.7イベント通知設定画面を参照して下さい。

イベントログに記録されるイベントの内容例は付録2を参照ください。

重要 UPS を手動で停止し UPS の出力が OFF した後、すぐに UPS の交流入力電源を OFF すると一部の ログが消失する可能性があります。 UPS の交流入力電源 OFF は UPS の出力が OFF してから 約10秒経過後、実施してください。 [イベントログクリア]リンクや[イベントログ保存(csv)]リンクをクリックした時に「コマンド応答がありません 再度試みて下さい」というメッセージが表示される場合があります。 このメッセージが表示された 時は、実行した操作が正常に受け付けられていませんので再度リンクをクリックしてください。

3.4.1. イベントログの保存

以降の操作を行うことで、イベントログを保存することが出来ます。

上フレームの[イベントログ保存(csv)]リンクをクリックすると下記ダイアログが開きます。

🚰 http://10.65.11.135/eventlog2.cgi - Microsoft Internet E 💶 🗖	×
下記のファイルにイベントログを生成しました ダウンロードするにはファイル名をクリックして下さい (ダウンロードが開始されない場合は、右クリックからファイルを保存 してください)	
eventlog.csv	
閉じる	
	-
🙋 ページが表示されました	//.

図3-9 イベントログの保存ダイアログ

「eventlog.csv」にカーソルを合わせ右クリックし、開いたウィンドウの「対象をファイルの保存」を 選択し、ダウンロードします。

ダウンロード後は「閉じる」をクリックし、ダイアログを閉じます。

3.4.2. イベントログのクリア

以降の操作を行うことで、イベントログをクリア(削除)することが出来ます。

① 上フレームの[イベントログクリア]リンクをクリックすると下記ダイアログが開きます。

🖉 http://10.65.11.135/confirm.c 💶 🗙
イベントログをクリアしてもよいですか?
OK キャンセル

図 3-10 イベントログクリアの確認ダイアログ

OK ボタンをクリックすると、イベントログのクリアが実行されます。 キャンセルボタンをクリックするとこのダイアログが閉じられます。

3.5. データログ

メニューの[データログ]をクリックすると、右フレームにデータログ画面を表示します。

年月日	時刻	入力 電圧 [V]	入力 周波数 [Hz]	入力 電力 [k₩]	出力 電圧 [V]	出力 周波数 [Hz]	負荷率 [X]	バッテリ 電圧 [V]	周囲 温度 [℃]	バッテリ 容量 [X]
2009-02-14	11:42:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:40:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:38:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:36:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:34:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:32:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:30:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:28:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:26:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:24:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	11:20:10	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	10:38:16	200.8	50.0	0	0.0	0.0	50	370.8	0	0
2009-02-14	10:36:16	10.8	50.0	0	200.0	0.0	50	0.9	0	0
2009-02-14	10:34:15	10.8	50.0	0	200.0	0.0	50	90.8	0	0
2009-02-14	10:29:32	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	10:27:32	200.8	50.0	0	0.0	0.0	50	0.9	0	0
2009-02-14	10:25:32	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	10:23:32	200.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0
2009-02-14	10:21:32	10.8	50.0	0	200.0	50.0	50	385.6	0	0
2009-02-14	10:19:32	10.8	50.0	0	200.0	50.0	50	402.2	0	0

データログ保存(CSV) ログ件数:720 前ページ 1/36 次ページ

図 3-11 データログ表示画面

データログクリア データログ保存(CSV) ログ件数:720 前ページ 1/36 次ページ 出力 電圧 [V] 入力 周波数 周囲 出力 バッテリ バッテリ 負荷率 電圧 周波鼓 温度 [°C] 年月日 時刻 電力 配圧 容量 [X] [kW] [Hz] [Hz] [%]

図 3-12 データログ表示画面(ログイン後)

本画面は上下 2 つのフレームから構成され、上フレームには[データログ保存(csv)]リンク、[データログク リア] リンク(ログイン後のみ)、[前ページ]リンク、[次ページ]リンクとログ件数、現在開いているページ数 (n / m)を表示します。下フレームにはデータログの内容を表示します。

データログは 2 分間隔で自動的に記録され、720 件を越えると古いデータログから順次上書きされます。

	重要
٠	UPS を手動で停止し UPS の出力が OFF した後、すぐに UPS の交流入力電源を OFF すると 一部のログが消失する可能性があります UPS の交流入力電源 OFF け UPS の出力が OFF
	してから約10秒経過後、実施してください。
•	[データログクリア]リンクや[データログ保存(csv)]リンクをクリックした時に「コマンド応答がありませ
	ん再度試みて下さい」というメッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示され
	た時は、実行した操作が正常に受け付けられていませんので再度リンクをクリックしてください。

3.5.1. データログの保存

以降の操作を行うことで、データログを保存することが出来ます。

- http://10.65.11.135/datalog2.cgi Microsoft Internet Ex.. 「」「×
 下記のファイルにデータログを生成しました ダウンロードするにはファイル名をクリックして下さい (ダウンロードが開始されない場合は、右クリックからファイルを保存 してください)
 datalog.csv
- ① 上フレームの[データログ保存(csv)]リンクをクリックすると下記ダイアログが開きます。



閉じる

図3-13 データログの保存ダイアログ

「datalog.csv」にカーソルを合わせ右クリックし、開いたウィンドウの「対象をファイルの保存」を選択し、ダウンロードします。

ダウンロード後は「閉じる」をクリックし、ダイアログを閉じます。

3.5.2. データログのクリア

以降の操作を行うことで、データログをクリア(削除)することが出来ます。

① フレームの[データログクリア]リンクをクリックすると下記ダイアログが開きます。

🖉 http://10.65.11.135/confirm.c 💶 🗙
データログをクリアしてもよいですか?
OK キャンセル
 個ペ

図 3-14 データログクリアの確認ダイアログ

OK ボタンをクリックすると、データログのクリアが実行されます。 キャンセルボタンをクリックするとこのダイアログが閉じられます。

3.6. UPS 管理画面

ログイン後、左フレームメニューの[UPS 管理画面]をクリックすると詳細設定のメニューを表示します。

3.6.1. 一般設定画面

メニューの[一般設定]をクリックすると、右フレームに一般設定画面を表示します。

UPS管理画面	[一般設定]
UPS型式名:	UPS7000 B/3/15
接続機器名:	(半角30字,全角15字以内)
定格容量: 定格出力:	50 kVA 40 kW
オートログアウト	: 20 ▼分間 : 設定ボタン操作が無い場合、初期認証・モニタリング画面に戻ります。
設定	キャンセル
・設定ボタンはデ データ確定後は ・キャンセルボタ3	ータを永久保存します。 は必ず設定ボタンを押してください。 ノは現在データを前回データに戻します。

図 3-15 一般設定画面

本画面では一般的な各種情報の設定を行います

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は永久保存されます。
設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
IP Address を変更した場合、Web ブラウザは切断されます。
新しい IP Address を Web ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください。
また新しく設定した IP Address は必ずメモ等で控えておいてください。
オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。

① UPS 型式名

UPS の型式を自動的に表示します。(表示のみ)

② 接続機器名

UPS が電源を供給する機器の名称を入力します。
ここで入力された接続機器名は「UPS モニタリングメイン画面」に表示されます。
全角 15 文字(31 半角文字)まで入力可能です。
半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ - @ . ()' が使用可能です。

③ 定格容量

UPSの定格負荷容量の値を表示します。(表示のみ)

④ 定格出力

UPSの定格出力の値を表示します。(表示のみ)

⑤ オートログアウト

ー定時間Webブラウザに対して設定ボタン操作を行わなかった場合、右フレームはUPSモニタ リングメイン画面を表示し、左フレームはログイン画面を表示します。これをオートログアウトといい ますが、どれだけの時間操作がなかった時にオートログアウトを行うか、その時間を選択します。 デフォルトでは10分が設定されています。

⑥ 設定ボタン

設定した各値をWeb/SNMPカードのメモリへ書き込みます。

IP Address を変更した時は接続が切れる為、再接続が必要です。

変更後の IP Address を Web ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください。

⑦ キャンセルボタン

各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.2. IP アドレス設定

メニューの[IP アドレス設定]をクリックすると、右フレームに IP アドレス設定画面を表示します。

UPS管理画面[IPアドレス設定]			
MAC Address:	00:40:1 a:33:00:26		
IP Address:	10 . 65 . 11 . 135 (半角数字3字以内 0~255)		
Subnet Mask:	255 255 255 0 (半角数字3字以内 0~255)		
Gateway Address:	10 _ 65 _ 11 _ 2 (半角数字3字以内 0~255)		
SMTP IP Address:	0 0 (半角数字3字以内 0~255)		
Time Server IP Address	: 0 0 0 0 (半角数字3字以内 0~255)		
	キャンセル		
 ・設定ボタンはデータを永 データ確定後は必ず設: ・キャンセルボタンは現在 	久保存します。 定ボタンを押してください。 :データを前回データに戻します。		
注)IPアドレスとサブネット これらの項目の変更時は	マスク、ゲートウエイIPアドレスの変更はカードの再起動を行わないと反映されません。 、設定ボタンを押下後にリブートの問い合わせに対してOKをクリックしてカードの再起動を行って下さい。		



本画面ではWeb/SNMPカードのネットワークに関する設定を行います。

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は変更されます。
設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
IP Address、Subnet Mask、Gateway Address はリブート後に設定が有効となります
🚰 http://10.65.11.135/reboot 📃 🗖 🗙
入力データを設定しました
リブートしますか?
YES NO
IP アドレス設定画面で「設定]ボタンをクリックすると上記ポップアップウィンドウが表示され「YES]
を選択するとWeb/SNMPカードはリブートを行い、変更した内容が反映されます。
「NO]を選択した場合は現在の設定が維持されますがWeb/SNMPカードがリブート(リセットボ
タンの押下、Web/SNMPカードの電源 OFF/ON)を行うと変更した設定が有効となります。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
IP Address変更した場合 Webブラウザけ切断されます
新しいIP AddressをWeb ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください
オートログアウト時間以内に設定ボタンを加いたり、かいと、自動ログアウトにます
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。

① MAC Address

Web/SNMPカードの MAC Address を表示します。(表示のみ)

2 IP Address

設定されている Web/SNMP カードの IP Address が表示されます。変更したい場合は IP Address を入力して設定ボタンをクリックしてください。IP Address を変更した場合は参照 する Web/SNMP カードの URL が変更されるため、Web ブラウザは切断されます。変更後 の IP Address を Web ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください。なお新 しく設定した IP Address は必ずメモ等で控えておいてください。

設定ボタンをクリックすると、リブート確認のポップアップウィンドウが表示され、設定を有効に するためにはポップアップウィンドウの[YES]をクリックしてWeb/SNMPカードをリブートする 必要があります。

🖉 http://10.65.11.135/reboot 📃 🗖 🗙
入力データを設定しました リブートしますか?
YES NO
ペ 「 「 「 く イントラネット ///

図 3-17 リブート確認ポップアップウィンドウ

[NO]を選択すると変更した設定内容は保存されますが、Web/SNMPカードをリブートする まで現在の設定内容が有効となり、リブート後に内容が反映されます。

IP Addressを変更した場合は参照するWeb/SMMPカードのURLが変更されるため、 Webブラウザは切断されます。

変更後の IP Address を Web ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください。

③ サブネットマスク

UPSを設置するネットワーク環境に合わせたサブネットマスクの値を設定します。 変更したい場合はサブネットマスクを入力して設定ボタンをクリックしてください。

サブネットマスクの設定もIP Address と同様にリブート後に有効となります。

④ Gateway Address

UPS を設置するネットワーク環境に合わせた Gateway Address の値を設定します。 変更したい場合は Gateway Address を入力して設定ボタンをクリックしてください。

Gateway Address の設定もIP Address と同様にリブート後に有効となります。

5 SMTP IP Address

SMTP(メール)サーバのアドレスを設定します。メール送信を行う場合に必要となります。 変更したい場合はSMTP IP Address を入力して設定ボタンをクリックしてください。

SMTP IP Address の設定変更は設定ボタンをクリックすると反映されます。 設定を有効にするための<u>リブートの必要はありません</u>。

6 Time Server IP Address

タイムサーバ(NTP)の IP Address を設定します。 NTP サーバから取得した時刻情報でWeb/SNMPカード内部の時計を自動補正します。

補正は2回/日で内部の時計が 11:45,23:45 になった時に実行します。

Time Server IP Address を設定して NTP サーバによる時刻補正を推奨しますが、 NTP サーバを利用することができない場合は、**3.6.8時刻設定画面**を参照して Web/SNMP カードの時刻設定を行ってください。

Web/SNMPカード内部の時計 IC は水晶発振器を使用しておりますが、長時間連続使用 で若干の時間のずれを生じます。

1回/月は時刻の確認とずれの補正の為の時刻設定を実施してください。

Time Server IP Address の設定変更は設定ボタンをクリックすると反映されます。 設定を有効にするためのリブートの必要はありません。

⑦ 設定ボタン

設定した各値をWeb/SNMPカードのメモリへ書き込みます。

IP Address、Subnet Mask、Gateway Address の変更内容を有効にするためにはリブートを行う必要があります。変更後の IP Address を Web ブラウザのアドレス(場所)欄に入力して再接続してください。

SMTP IP Address 、Time Server IP Address は設定ボタンをクリックすると変更内容が 反映されます。

⑧ キャンセルボタン

各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.3. ユーザ設定画面

メニューの[ユーザ設定]をクリックすると、右フレームにユーザ設定画面を表示します。

		2
UPS官理画面L工 [、]		
UPSシリアル番ち: 	(半角英数30字以内)	
UPS設置場所:	l	(半角60字、全角30字以内)
会社名:		(半角60字、全角30字以内)
部署名:		(半角60字、全角30字以内)
UPS管理担当者名:	(半角40字、全角	20字以内)
ご住所:		(半角60字、全角30字以内)
郵便番号:	(半角数字10字以内,-'含む)	
電話番号:	(半角数字20字以内.'-'含む)	
FAX番号:	(半角数字20字以内,'-'含む)	
e-mail:	(半角英数字40字	"以内)
	キャンセル	
・設定ボタンはデータを データ確定後は必ず	E永久保存します。 「設定ボタンを押してください。	
 ・キャンセルボタンは現 	見在データを前回データに戻します。	
・ここで設定する情報は	は、Web/SNMPカードからのe-mail送信時の署名データに pr限リゴ記入願います。	
・UPSシリアル番号の語	記入は、特に必要は有りません。	

図 3-18 ユーザ設定画面



本画面ではユーザ情報の設定を行います。

- UPS シリアル番号
 UPS のシリアル番号を入力します。
 半角30文字まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
 ※シリアル番号が分からない場合は未記入としてください。
- ② UPS 設置場所
 UPS の設置場所を入力します。
 全角30文字(半角60文字)まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ③ 会社名
 会社名を入力します。
 全角30文字(半角60文字)まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ④ 部署名
 部署名を入力します。
 全角30文字(半角60文字)まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ⑤ UPS 管理担当者名
 UPS 管理担当者の名前を設定します。
 全角30文字(半角60文字)まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ⑥ご住所
 住所を設定します。
 全角30文字(半角60文字)まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z'A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ⑦ 郵便番号
 郵便番号を設定します。半角文字10文字のみ入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' @ . ()' が使用可能です。
- ⑧ 電話番号電話番号を設定します。半角文字20文字のみ入力が可能です。

半角文字は 'a-z'A-Z'0-9' _ - @ . ()' が使用可能です。

- ⑨ FAX 番号
 FAX 番号を設定します。 半角文字20文字のみ入力が可能です。
 半角文字は 'a-z'A-Z'0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- 10 e-mail

管理者の e メールアドレスを設定します。半角文字40文字のみ入力が可能です。 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9''_ - @ . ()' が使用可能です。 ここに入力されたメールアドレスは、署名データに記述するメールアドレスです。 異常時に送信されるメールアドレスではありません。実際に送信するメールアドレスは3.6.5 e-mail 通知設定画面を参照して下さい。

- 設定ボタン 設定した各値を Web/SNMP カードのメモリへ書き込みます。
- ② キャンセルボタン各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.4. SNMP 設定画面

メニューの[SNMP 設定]をクリックすると、右フレームに SNMP 設定画面を表示します。

UPS管理画面[SNMF	設定]SNMPIC。	よるUPS管理の設定を行います。	
SNMPトラップ通知先の設定			
IP	Address	Community Name	
IP Address1: 0	. 0 . 0	public テスト実行	
IP Address2: 0 . 0	. 0 . 0	public テスト実行	
IP Address3: 0 . 0	. 0 . 0	public テスト実行	
IP Address4: 0 . 0	. 0 . 0	public テスト実行	
IP Address5: 0	. 0 . 0	public テスト実行	
(IP Address:半角数字3字	□以内 0~255)	Community Name:半角英数号	約0字以内,特殊文字''含む)
テスト用トラッブ選択: 遛	負荷 🔽 🖌	MBをドロップダウンリストで選択	
注1)テスト実行ボタンを打 テスト用トラップを送け	申すと、ボタン左IP 「創います。	AddressのUPS負荷(管理サーバ	「やパソコン)に
注2)当該IPの装置がテス 注2)テスト実行対応	してなり。 「ト用トラップを受け Herocoをスカレー	言しても業務に影響のないことを確 空デオタンを押してからま行ポタン	翻してから実行してください。 透明してください。
/HO/ J 人 F 美 H 前 ICLF AG	JULESS 2/1/JOK =	東連本メンを伴いてから美日本メノ	12370 UNICON
SNMPマネージャとRea	d/Write許可属	性の設定	
IP Address	Read Write	Community Name	
0.0.0		public	
0.0.0		public	
0.0.0		public	
0.0.0.0		public	
0.0.0.0		public	
(IP Address:半角数字3字	以内 0~255)	(Community Name:半角英数字	10字以内,特殊文字'‐' 含む)
設定	キャンセル		
 ・設定ボタンはデータを永久 ・キャンセルボタンは現在う 	、保存します。 デ データを前回データ	ータ確定後は必ず設定ボタンを排 Nこ戻します。	判してください。

図 3-19 SNMP 設定画面

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は永久保存されます。設定ボタンをクリッ
クしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。
IP Address には半角数字のみ入力可能です。ピリオドを入力する必要は有りません。
テスト実行前に入力した IP Address が設定されている事を確認してください。設定がされていない場
合はトラップが送信されません。
テスト実行ボタンを押すことにより、「テスト用トラップ選択」で選択されたトラップを送信します。トラップ
を使用される場合は、SNMPマネージャとの通信が正常であることを事前に確認してください。

▲ 注意

SNMP トラップのテスト実行の際は、当該 IP の装置がトラップを受信しても業務に影響のないことを確認してください。

本画面では、SNMP に関するパラメータを設定します。

- IP Address1-5 (SNMP マネージャに関するパラメータ)
 トラップ情報の送信先である SNMP マネージャの IP Address を入力します。
 半角数字のみ3文字まで入力可能。
- ② Community Name

トラップ情報の送信先である SNMP マネージャの Community Name を設定します。 半角英数字10文字まで、特殊文字'-_.'が入力可能です。デフォルトは"public"です。

- ③ テスト実行ボタン このボタンをクリックすると、「テスト用トラップ選択」で選択されているトラップのみを指定され た IP Address に対して送信します。
 SNMP マネージャに情報が伝達されることを事前に確認してください。
 このボタンをクリックしてもUPSの状態は変化しません。
- ④ テスト用トラップ選択テスト用のトラップを選択します。テスト送信されるトラップを以下に示します。

トラップ名	識別子(JEMA MIB)
過負荷	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.6
過負荷復帰	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.7
入力異常	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.3
入力異常復帰	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.4
重故障発生	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.14
軽故障発生	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.15
故障復帰	1.3.6.1.4.1.4550.1.2.16

- ⑤ IP Address1-5 (SNMP マネージャと Read/Write 許可属性の設定)
 状態監視、UPS 制御するSNMPマネージャ IP Address を入力します。
 状態監視には Read 許可属性、UPS 制御には Write 許可属性を設定します。
 ※ただし Write を設定しても UPS は書き込みを受け付けないので UPS の制御はできません。
- ⑥ Read 属性 指定 IP Address 上のSNMPマネージャから Web/SNMP カードへの Read を許可します。
- ⑦ Write 属性 指定 IP Address 上の SNMP マネージャから Web/SNMP カードへの Write を許可しま す。

※ただし Write を設定しても UPS は書き込みを受け付けないので UPS の制御はできません。

⑧ CommunityName

指定 IP Address 上の SNMP マネージャから受け取る CommunityName を設定します。 半角英数字10文字まで、特殊文字'・_..'が入力可能です。デフォルトは"public"です。

- ② 設定ボタン 設定した各値をWeb/SNMPカードのメモリへ書き込みます。
- ① キャンセルボタン

 各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.5. e-mail 通知設定画面

メニューの[e-mail 通知設定]をクリックすると、右フレームに e-mail 通知設定画面を表示します。
UPS管理画面[e-mail通知設定]イベント通知設定でのメール送信先の設定
e-mail 1: テスト送信
e-mail 2: テスト送信
e-mail 3: テスト送信
e-mail 4: テスト送信
e-mail 5: テスト送信
(e-mail:半角英数40字以内,mailの特殊記号含む。name@company.co.jp,name@company.comなど正確に入力してください)
□ SMTP認証を使用する
ユーザID:
パスワード:
テスト 达信メッセーン:
e-mailのFromアドレス:
(e-mail:半角英数40字以内.mailの特殊記号含む。name@company.co.jp.name@company.comなど正確に入力してください) e-mail送信時の送信者メールアドレスです。また、送信メール不達時のリターンアドレスとなります。 UPS管理者(サーバ管理者)などののメールアドレスを設定してください。
テスト送信ボタンの使い方:テスト送信ボタンは左のメールアドレスに対応しています。
注意)テスト送信ボタン操作後はメッセージ表示がありますので、それまでボタンを押さないようにしてください。
(1)e-mailアドレス以上ルの卵光を入力してください。 2)テスト送信メッセージにメールの本文となる文字を入力してください。
③メールのfromアドレス(送信者)を入力してください。 (小設定ボタンを押してください、入力メールアドレフをチェック」並久保存します
入力ミスがある場合は、エラー表示されますので(1)からやり直してください。
(5)テスト送信ボタンを押してください。メール 送信成功・不成功の 表示があります。 (6)次のテスト送信が可能です。(1)から再度実施してください。
設定完了後、管理画面[イベント通知設定]のメールのチェックを忘れずに設定してください。
設定 キャンセル
・設定ボタンはデータを永久保存します。 データ確定後は必ず設定ボタンを押してください。 ・キャンセルボタンは現在データを前回データに戻します。

図 3-20 e-mail 通知設定画面

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は永久保存されます。
設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。
e-mail を送信するためには[一般設定]にて SMTP IP Address を設定する必要があります。
「テスト送信」ボタンを押すことにより、設定された e-mail Address に e-mail を送信します。
e-mail を使用される場合は、事前に確認してください。
テストを実行する際は「テスト送信メッセージ」にメッセージが入力されていることを確認してください。
e-mailの送信タイミングは3.6.7イベント通知設定画面を参照してください。

本画面では、各種イベント発生時の e-mail の送信に関するパラメータを設定します。

① e-mail アドレス 1-5

e-mail 送信相手先(管理者)のアドレスを入力します。
半角 40 文字のみ入力が可能です。
半角文字は 'a-z"A-Z"0-9" _ - @ . ()' が使用可能です。

② テスト送信
 このボタンをクリックすると、指定した e-mail アドレスに対してテスト用の e-mail を送信しま
 す。
 e-mail アドレスを設定した際はテスト送信を行い、e-mail が確実に届くことを事前に確認し
 てください。

ただしテスト送信メッセージに入力がない場合は送信されません。

③ SMTP 認証を使用する

このチェックボックスにチェックを入れると、メール送信時に SMTP 認証を行います。SMTP サーバが SMTP 認証に対応している場合にのみご利用ください。 SMTP 認証で対応している方式は"AUTH-LOGIN"、"AUTH-PLAIN"になります。 認証時は SMTP サーバが対応している認証方式に自動で選択されます。

④ ユーザ ID (SMTP 認証)
 SMTP 認証に使用するユーザ ID を入力します。
 半角 60 文字まで入力が可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ - @ . ()' が使用可能です。

⑤ パスワード(SMTP 認証)

SMTP 認証に使用するパスワードを入力します。
半角 60 文字まで入力が可能です。
半角文字は 'a-z'A-Z''0-9'' _ の ()' が使用可能です。

- ⑥ テスト送信メッセージ
 e-mail 送信テストの際のテスト用メールメッセージを入力します。
 全角60文字(半角120文字)まで入力可能です。
 半角文字は 'a-z''A-Z''0-9'' _ @ . ()' が使用可能です。
- ⑦ e-mailのFromアドレス
 e-mail送信時の送信者のe-mailアドレスとなります。
 また e-mail送信時にエラーがあった時のリターンアドレスともなります。
 UPS管理者(サーバ管理者)等のe-mailアドレスを設定してください。
 半角 40文字のみ入力が可能です。
 半角文字は 'a-z'A-Z''0-9'' @ . ()'が使用可能です。
- ⑧ 設定ボタン 設定した各値を Web/SNMP カードのメモリへ書き込みます。
- ③ キャンセルボタン各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

※e-mail テスト送信ボタンの使用方法

- (1)e-mail アドレスを(メールの送信先)を入力してください。
- (2)テスト送信メッセージにメールの本文となる文字を入力してください。
- (3) e-mailの From アドレスに送信者のアドレスを入力してください。
- (4) 設定ボタンをクリックしてください。
 入力 e-mail アドレスをチェックし、設定を永久保存します。
 入力ミスがある場合はエラー表示されますので(1)から設定をやり直してください。
 (5) テスト送信ボタンをクリックしてください。送信成功・不成功の表示があります。

重要

- テスト送信ボタンは左の e-mail アドレスに対応しています。
 - テスト送信ボタン操作後、送信完了のメッセージが表示されるまでは他の操作を行わないでください。

3.6.6. Netshut 設定

メニューの[Netshut 設定]をクリックすると、右フレームに Netshut 設定画面を表示します。

UPS管理画面[Netshut設定] NetshutlこよるPCシャットダウンの誘	定を行います。
▼入力異常検出時にNetshutを発行する 入力異常検出からNetshut発行までの時間:180 秒(半角数字4字以)	内 180~9999)
Netshut発行相手先とIPアドレス1からの発行遅延時間の設定	
IP Address 1:0 ,0 ,0 ,0 /ボート番号:7006 遅延時間	: - テスト実行
IP Address 2: 0 0 0 0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 3: 0 0 0 0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 4: 0 0 0 0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 5: 0 ,0 ,0 ,0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 6: 0 ,0 ,0 ,0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 7: 0 ,0 ,0 ,0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
IP Address 8: 0 ,0 ,0 ,0 /ポート番号: 7006 遅延時間	: 0 秒 テスト実行
(IP Address:半角数字3字以内 0~255) ポート番号:半角数字4文字以内 0~9999) (遅延時間:半角数字4字以内 0~9999)	
注) Netshut はWeb/SNMPカードからサーバやパワコンへシャットダウンを集 指定されたマシンでNetshutサービス(デーモン)をインストール、実行してい	行させるトリガをTCP/IPで発信しますが いなくてはなりません。
設定 キャンセル	
・設定ボタンはデータを永久保存します。 データ確定後は必ず設定ボタン ・キャンセルボタンは現在データを前回データに戻します。	を押してください。

図 3-21 Netshut 設定画面

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は変更されます。
設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。
シャットダウン信号の発行遅延時間の設定を行う場合、各 IP Address 間で10秒以上の間隔を空けて
設定してください。
シャットダウン信号の発行タイミングは設定時間の1~2%(数秒~数十秒)遅れる場合があります。
Web/SNMPカードの Netshut のポート番号はデフォルトで 7006/TCP 固定です。各サーバにインス
トールする Netshut のポート番号と同じ番号を設定して下さい。
Netshut の詳細内容、設定方法に関しては、Netshut のマニュアルをご参照下さい。
シャットダウン信号の発行遅延時間の設定は UPS のバッテリバックアップ時間よりも長い時間を指定
しないで下さい。

	重要
Nets	hutを使用する前に下記内容の確認をして下さい。
(1)	UPS から電源供給を受けるサーバ、パソコンの IP-Address を全て登録してください。
(2)	テスト実行ボタンは登録した IP Address のサーバ、パソコンがシャットダウン信号により
	シャットダウンする事を事前に確認するためのものです。停電での運用の前に必ず実施
	してください。
	なお、登録した IP Address が間違っていた場合、他のサーバ、パソコンをシャットダウン
	してしまう可能性がありますので IP Address の設定には十分注意してください。
(3)	登録 IP Address が違っていますと、シャットダウン信号の発行にむだな時間が生じ期待
	する順序停止が遅れる事があります。
(4)	Web/SNMPカードとサーバ、パソコン間の接続ルートに存在する HUB の電源がバック
	アップされてない場合、停電で HUB の機能が喪失します。その場合、Web/SNMP
	カードからサーバ、パソコンヘシャットダウン信号が送信できないため OS のシャットダウ
	ンが正常に実行されません。
	Web/SNMPカードとサーバ、パソコン間の接続ルートに存在する HUB の電源もバック
	アップすることを推奨します。

本画面では、シャットダウン信号の発行に関するパラメータの設定を行います。

シャットダウン信号は UPS から電源供給を受けているサーバ、パソコンに TCP/IP で信号を送り、サーバ、 パソコンの OS シャットダウンを実行するものです。

最大8台のサーバ、パソコンの登録が可能です。(UPSに最大8台接続可能)

- 入力異常検出時に Netshut を発行する このチェックボックスをチェックすると停電検出時に OS のシャットダウン(シャットダウン信号 の発行)が実施されます。 シャットダウン信号を使用して OS をシャットダウンさせるためには対象となるサーバ、パソコン に Netshut をインストールしてサービス(デーモン)として実行し、3.6.6Netshut 設定で Netshut 発行相手先の IP Address を指定する必要があります。(default:チェック有り)
- ② 入力異常検出から Netshut 発行までの遅延時間
 入力異常検出後に OS シャットダウン (OS シャットダウン信号の発行)を開始する時間を設定
 します。(default:180 秒 180 秒から 600 秒まで設定可能)

シャットダウン開始条件:

停電検出からの経過時間 ≧ 停電検出後 OS シャットダウン開始時間(デフォルト:180 秒)


図 3-22 Netshut 発行タイミング



- ③ IP Address 1-8
 Netshut 発行相手先(UPSから電源供給を受けるサーバやパソコン)のIP Addressを入力 します。
- ④ テスト実行ボタン

①で設定した IP Address のサーバ、パソコンに対して Netshut 発行(OS シャットダウン)テ ストを実行します。 このテストは実際に Netshut を発行(OS シャットダウン)するため、①で設定した IP Address が間違っていた場合、他のサーバ、パソコンをシャットダウンしてしまう可能性があり

Netshut 発行遅延時間

IP Address 1 に対する Netshut 発行からの時間間隔(秒)を入力します。 IP Address 2~IP Address 8 に関しては IP Address 1を基準にして Netshut 発行に遅延時間 を設けることが可能です。サーバ、パソコンの停止に順序関係が必要な用途に対応できま す。

⑥ 設定ボタン 設定した各値をWeb/SNMPカードのメモリへ書き込みます。

ますので IP Address の設定には十分注意してください。

⑦ キャンセルボタン各入力値を入力前の値に戻します。

3.6.7. イベント通知設定画面

メニューの[イベント通知設定]をクリックすると、右フレームにイベント通知設定画面を表示します。



図3-23 イベント通知設定画面

	重要
	主义
٠	各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は永久保存されます。
	設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
•	各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」と
	いうメッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変
	更は行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
۲	オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
	その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。
•	瞬時停電や瞬時の過負荷など、Web/SNMPカードが異常を検出するより早く、UPS が正常な
	状態に復帰すると、e-mailの送信やイベントログへの書き込みが実行されない場合があります。

本画面では、イベント発生時の各種通知に関するパラメータの設定を行います。

- 発生イベント 通知処理の対象となるイベントを表示します。
- ② メール

イベント発生時に e-mail を送信するかどうかを設定します。 またイベントログに「イベントメール送信(Sent email OK)」が残ります。 デフォルトの設定は全イベントが無効となっています。

③ ログ

イベント発生時にログの記録を行うかどうかを設定します。 この設定を有効にするとイベントログに「UPS重故障(ヒューズ断)」や「入力異常」が残りま す。 デフォルトの設定は全イベントが有効となっています。 イベントログに記録されるイベントの内容例は付録2を参照ください。

④ 設定ボタン

設定した各値をWeb/SNMP カードのメモリへ書き込みます。

⑤ キャンセルボタン各設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.8. 時刻設定画面

メニューの[時刻設定]をクリックすると、右フレームに時刻設定画面を表示します。

UPS管理画面[時刻設定]Web/SNMPカードの時刻設定を行います。		
Web/SNMPカードの時刻は環境により変動することがあります。 時々、時刻を確認し再設定してください。 なお、秒の選択項目は有りませんが設定時は00秒で設定されます。		
カードに設定する時刻を次のブルダウンメニューで選択し設定して下さい。		
2009 ▼年 02 ▼月 15 ▼日 12 ▼時 00 ▼分		
設定 キャンセル		
・設定ボタンは選択した時刻をカードの時計ICに設定します。 設定ボタンを押すまで時刻は更新されませんので更新する場合は必ず設定ボタンを押してください。 ・キャンセルボタンは選択した時刻を選択前の時刻に戻します。		

図 3-24 時刻設定画面



本画面では、Web/SNMP カード内の内部時刻の設定を行います。

- 時刻 Web/SNMPカードに設定すべき時刻を設定します。
- 設定ボタン
 時刻設定値をWeb/SNMPカードのメモリへ書き込みます。
- ③ キャンセルボタン時刻設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.6.9. ユーザ名/パスワード設定画面

メニューの[ユーザ名/パスワード設定]をクリックすると、右フレームにユーザ名/パスワード設定画面を 表示します。

UPS管理画面[ユーザ名/バスワード語 ます。	定 JUPS管理画面のログイン用ユーザ名、バスワードを設定し
ユーザ名、バスワードを変更する時は下記フォー	ムに入力してください。
ユーザ名: 0000 (半角英数8	字以内)
パスワード: **** (半角英数8	字以内)
パスワードの再入力: (入力した)	スワードをもう一度)
設定 キャンセル	
・設定ボタンはデータを永久保存します。 データ ・キャンセルボタンは現在データを前回データに見	確定後は必ず設定ボタンを押してください。 乳します。

図 3-25 ユーザ名/パスワード設定画面

重要
各項目を変更後、設定ボタンをクリックすることによって設定は永久保存されます。
設定ボタンをクリックしない場合は、設定内容の変更は行われないため注意してください。
各項目を変更後、設定ボタンをクリックした時に「コマンド応答がありません再度試みて下さい」という
メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された時は、設定内容の変更は
行われないため再度設定ボタンをクリックしてください。
オートログアウト時間以内に設定ボタンをクリックしないと、自動ログアウトします。
その場合、設定内容の変更は行われないため注意してください。
もしユーザ名、パスワードを変更して分からなくなった場合、ユーザ名とパスワードを「super777」にし
て Web 内に入り再度ユーザ名とパスワードを変更してください。

- ユーザ名
 ログイン画面で入力するユーザ名を設定します。
 デフォルトは"0000"です。
 半角英数字8文字まで入力可能です。
 ユーザ名には大文字、小文字の区別があります。
- ② パスワード
 ログイン画面で入力するパスワードを設定します。
 デフォルトは"0000"です。
 半角英数字8文字まで入力可能です。
 パスワードには大文字、小文字の区別があります。
- パスワードの再入力 確認のため、②で設定したパスワードと同じ値を設定します。
- ④ 設定ボタン
 ユーザ名とパスワードの設定値を Web/SNMP カード内のメモリに書き込みます。
- ⑤ キャンセルボタン ユーザ名とパスワードの設定値を入力前(設定ボタンを押す前)の値に戻します。

3.7. 言語設定

下記の手順により、Web 画面の表示言語を切り替えることができます。 ※弊社指定の言語ファイルが必要です。

言語ファイルは弊社ホームページからダウンロードしてください。

3.7.1. 設定手順

	Web/SNMP力一下	UPS Web Monitoring Version 20.02.09 IP Address = 10.65.11.123	
	UPSモニタ画面	Language / 言語設定	
	イベントログ	Web/SNMPカードの言語を変更します。	
	データログ	SETP1:言語ファイルの選択	
	VPS管理画面	言語ファイル名 参照… (2)	
	ログアウト(管理画面終了)		
I) [Language	江窓心り外江道との言語ノアイルで自足して下でい。	
	Maker's setting	STEP2:言語ファイルのアップロード	
		言語ファイルをアップロードする場合はこのボタンを押下して下さい Start Upload (3)	
		注意:不正なファイルを読み込ませた場合、以降の動作に支障をきたす恐れがあります。	

- 1. 左フレームの[Language]を押すと、右フレームに言語設定画面が表示されます。
- 2. [参照]ボタンを押し、ファイル選択ダイアログから言語ファイルを選択してください。
- 3. 言語ファイルを指定後、[Start Upload]ボタンを押してください。

Language / 言語設定		
言語ファイルの受信完了		
受信したファイルサイズ:36421 byte		
STEP3:言語の更新実行		
言語を更新する場合はこのボタンを押下してください	Update Language	(4)
注意:"Update Language"を選択すると表示言語が更新	fされます。	•
注意:言語の変更を行う場合のみ"Update Language"を	6選択して下さい。	

4.言語ファイルのアップロードが正常に完了すると、上記の画面が表示されます。

[Update Language]ボタンを押してください。

(ファイルサイズが 32KB を超えるファイルを指定した場合、アップロードに失敗します。 アップロード失敗時は、再度1の手順から操作を行ってください)

Language / 言語設定		
更新完了		
STEP4:ログアウト		
表示を更新するためにログアウトして下さい	Logout Now	(5)
注意:20秒後に自動ログアウトします。		

5.言語ファイルの適用が正常に完了すると、上記の画面が表示されます。 [Logout Now]ボタンを押すと、言語設定が反映されモニタ画面に戻ります。 (正しい言語ファイルが指定されなかった場合、エラー画面が表示されます。 エラー表示時は、再度1の手順から操作を行ってください)

第4章 <u>SNMP インターフェイス</u>

Web/SNMP カードは RFC1213 に準拠した MIB-2、及び UPS 管理 MIB として JEMA-MIB に対応 しています。

停電等のイベント発生時には、指定した IP アドレスの SNMP マネージャに、トラップ(SNMP Trap v1) を利用して異常イベントの発生を知らせることができます。

Web/SNMP カードで対応している JEMA-MIB は付録 3 を参照ください。

4.1. 設定方法

SNMP トラップの通知先設定、SNMP コマンドなどの Read/Write 属性の設定は3.6.4SNMP 設定画 面を参照して下さい。

Web/SNMP カードの Community name はデフォルトでは"public"に設定されています。変更する場合は**3.6.4SNMP 設定画面**を参照して下さい。

SNMP コマンドを使用して設定した値は、Web モニタ画面の設定値とは関連はありません。

MIBの値を変更しても Web モニタ画面の設定値は変更されません。

(例外として OID 1.3.6.1.4.1.4550.1.1.1.6.0 upsIdentAttachedDevices は接続機器名に反映されま す。)

第5章 <u>FAQ</u>

5.1. Web モニタ画面が表示されない。

始めにUPSが正常に動作しているか確認してください。Web/SNMPカードのRUN RED(緑)が点滅しているか確認してください。10/100BASE-T ケーブルがルーター等の接続機器に接続されていることを確認して下さい。

ブラウザのアドレス(場所)欄に入力した IP Address が初期設定で Web/SNMP カードに登録した IP Address と同じであることを確認して下さい。Web/SNMP カードに登録した IP Address が不明な時は、 付録 4 の COM ポートによる初期設定を実行してください。

上記問題点を解決している場合、Web/SNMP カードのリセットスイッチを押して Web/SNMP カードをリ ブート(リブート時間は約3分)してください。

5.2. 左フレームに "ユーザ名、またはパスワードが間違っています"と表示される

入力したユーザ名、パスワードに誤りがあります。 デフォルトでは下記のように設定されています。

ユーザ名 0000

パスワード 0000

もしユーザ名、パスワードを変更して分からなくなった場合、ユーザ名とパスワードを「super777」にして Web 内に入り再度ユーザ名、パスワードを変更してください。

5.3. 左フレームに"既に他のユーザがログインしています"と表示される。

同時に複数ユーザのログインは出来ません。ログイン済みのユーザがログアウトしてから、ログインを試し て下さい。

* ログインしているユーザがいない場合

以前にログインユーザが左フレームのログアウトリンクをクリックせずにブラウザを終了または Web/SNMPカードと通信を切断した可能性があります。その場合、UPS管理画面の一般設定で設 定されているオートログアウトの時間を経過しないと、既存のログインユーザがいなくてもログインは 出来ません。したがって、オートログアウト時間経過後にログインを行うか、Web/SNMP カードのリ セットボタンを押して、Web/SNMP カードをリブート(リブート時間は約3分)した後ログインを行って ください。

5.4. Web/SNMPカードのIPアドレスを確認したい場合

Web/SNMPカードのIPアドレスはRS-232C通信で確認することが可能です。

Web/SNMP カードの RS-232C ポートを使用してサーバまたはパソコン(OS:Windows で通信ソフトが 起動する環境)から行います。Web/SNMP カードの RS-232C ポートとパソコンまたはサーバの RS-232C ポートを市販の RS-232C クロスケーブルで接続して下さい。

1) 通信ソフトを起動します。

ここではハイパーターミナルを使用した例を示します。

入力が必要なコマンドは全て太文字で記述してあります。

スタートメニューからプログラムのアクセサリからハイパーターミナルを起動し、適当な名前(下記 例では WebCard)を入力し、アイコンを選択して OK を選択します。

接続の設定	? ×
動 新しい接続	
名前を入力し、アイコンを選んでください。	
名前(N):	
WebCard	
アイコン型	
N 🗟 🗞 🚾 🍪 🔊	1
OK +*	レセル

図 5-1 ハイパーターミナル接続設定

接続方法に RS-232C ケーブルを接続したポート番号(下記例では COM1)を選び OK を選択します。

接続の設定	<u>? ×</u>
電話番号の情報を	入力してください。
国/地域番号(<u>C</u>):	日本 (81)
市外局番(E):	0
電話番号(<u>P)</u> :	
接続方法(N):	COM1
	OK キャンセル

図 5-2 ハイパーターミナル 接続

COM	1のプロパティ				? ×
(邪)	-トの設定				
					_
	ビット/秒(<u>B</u>):	9600		•	
	データ ビット(<u>D</u>):	8		•	
	パリティ(<u>P</u>):	なし		•	
	ストップ ビット(<u>S</u>):	1		•	
	フロー制御(<u>F</u>):	なし		•	
			既	定値に戻す(R)	
	0	К	キャンセル	, 適用	(<u>A</u>)

図 5-3 COM ポートの設定

ポートの通信設定は以下のように設定し OK を選択します。

ビット/秒	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

2) Web/SNMP カードの RESET スイッチを押して下さい。通信が開始されるとターミナル上に以下 の表示が現れます。

注意)

Web/SNMP カードは電源投入後、また RESET スイッチを押下後、約 10 秒間は以下で説明する コマンドの入力が可能(boot モード)ですが、約 10 秒を経過すると通常モードでの起動を開始し ます。初期設定を行う場合は電源投入後、また RESET スイッチ押下後、10 秒以内にコマンドの 入力を行う必要があります。もし、通常モードの起動が開始してしまった場合は、login プロンプト が表示されてから約 1 分後に再度 RESET スイッチを押下して下さい。 通常モードの起動完了には login プロンプトが表示されてから約1分必要です。

MONITOR for Web/SNMP Card version-1.3.1 build: Jul 03 2003 file system initialize ... end boot:

図 5-4 ターミナル画面1

3) "boot:"のプロンプトが表示されている状態で以下の設定確認用のコマンドを入力して Enterを押 してください。

mon

MONITOR for Web/SNMP Card version-1.3.1 build: Jul 03 2003 file system initialize ... end boot: mon boot>

図 5-5 ターミナル画面2

4) "boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下の設定確認用のコマンドを入力して Enter を押 してください。

sysconf view

boot>sysconf view Read system parameters from EEPROM ... Done! IP address : 10.10.10.100 Subnet mask : 255.255.255.0 Default Gateway : 10.10.10.1 MAC address : 00:40:1a:30:00:00 boot>

図 5-6 ターミナル画面3

表示内容の確認後は、boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下のコマンドを入力すると 通常モードでの起動を開始します。

boot

注意)

boot コマンド入力後 Web/SNMP カードは通常起動を開始し、login プロンプトを表示しますが通常モードの起動が完了するまでには、login プロンプト表示から1分ほど要します。

5.5. ネットワーク機器との LINK DOWN が頻発する

Web/SNMP カードは LAN からのアクセス(ブロードキャストを含む、すべての受信)が無い場合、LAN コントローラのリセットを行っており、そのリセットによる LINK DOWN を通信機器が検出していると推測されます。

このリセット機能は LAN コントローラに不具合が生じた場合、実運用での問題(停電時の動作など)が発生しないように組み込まれている仕様です。

5.6. 一部の携帯電話等でメールを受信すると文字化けが発生する

Web/SNMP カードの3.6.7イベント通知設定画面でメールの通知先を携帯電話に指定した場合、一部の携帯電話で受信したメールの本文が文字化けする事があります。

携帯電話のメール表示設定で文字コードの変換(エンコード)設定を"Shift-JIS"に設定してください。 設定方法は携帯電話のマニュアルを参照して下さい。

Address: Websnmp@fesys.co.jp Subject: UPS TEST FU00001A Date: 2009/01/28 18:00 [COMPUTER SYSTEM A-01]eXgM foCXIDFFU00001A F2009N0215 0914 CxgeFtest mail IPAhXF10.65.11.135 dFUPSd [JFFujiElectric @FCOMPUTER SYSTEM A-01 u^FUPS6000D-3 ueF50kVA uVAF F F F uSF XF E_mailF dbF	Shift-JIS 変換	Address: Websnmp@fesys.co.jp Subject: UPS TEST FU00001A Date: 2009/01/28 18:00 [COMPUTER SYSTEM A-01]のテスト 送信 デバイス ID:FU00001A 発生日時:2009 年 01 月 28 日 18 時 00 分 イベント内容:test mail IP アドレス:10.65.11.135 給電状態:UPS 給電中 メーカ:FujiElectric 接 続 機 器 名 : COMPUTER SYSTEM A-01 装置型式:UPS6000D-3 装置容量:50kVA 装置シリアル番号:
--	--------------	---

5.7. 長期間 UPS を停止させた後の Web/SNMP カード内部時刻について

Web/SNMP カードには時計の時刻を保持する為のバックアップ電源(スーパーキャパシタ)が内蔵され ていますが、時刻データを保持できる期間は 1 週間程度となります。1 週間以上の UPS を停止 (Web/SNMP カードの電源を OFF)する場合は、次回起動時に時刻の設定を行って下さい。時刻の設定 方法については3.6.8時刻設定画面を参照して下さい。

Web/SNMP カードがネットワークに接続されている環境の場合は3.6.2IP アドレス設定を参照にして NTP サーバによる時刻補正を設定される事を推奨します

第6章 <u>用語説明</u>

UPS	Uninterruptible Power Supply(無停電電源装置)
	停電などの入力電源異常が発生しても、ある一定時間、規定の交流電力を供給す る装置。
IP	Internet Protocol
	ネットワーク層を透過なインターネットワーク環境で接続するプロトコル。
IP アドレス	Internet Protocol に従って接続された各コンピュータのネットワーク層でのアドレス。
	ネットワーク上の各コンピュータを特定する。
LED	Light Emitting Diode
	UPS には UPS の状態を示す LED が装着されており、Web/SNMPカードからのコ
	マンドによって LED の点灯試験をすることが可能です。
MIB	Management Information Base(管理情報ベース)
	SNMPマネージャがエージェントから取得または操作できる管理対象オブジェクトを
	定義したもの
Netshut	Network Shutdown Software
	Netshutは、同一ネットワーク(TCP/IP)上に存在する複数台のサーバのOSシャット
	ダウンを可能にします。 UPSの出力に複数台のサーバを接続しており, 各サーバが
	同一ネットワーク上に存在する場合、各サーバにNetshutをインストールしてサービ
	ス(デーモン)として実行することで、それらのサーバをUPSの出力と連動してシャッ
	トダウンすることができます。Web/SNMPカードの各サーバへのシャットダウンの設
	定は WWW クライアントから可能です。
SNMP	Simple Network Management Protocol
	マネージャとエージェントの間で交換される情報を定義する。
	ネットワーク管理の為のフレームワークとして使用される。
SNMP トラップ	SNMP エージェントからネットワーク管理ステーションに自発的に送出されるメッ
	セージのこと
	Web/SNMP カードでは SNMP トラップとして電源異常、バッテリ異常などを設定し、
	UPS の状態通知に使用しています。
復電	停電後、入力電圧の範囲が定格仕様内に戻った状態。
過負荷状態	接続機器の容量が定格仕様を超えている状態。
過放電状態	バッテリ容量が空になり、劣化が進み、充電ができなくなった状態。
電圧異常	入力電圧の範囲が定格仕様外になっている状態。
入力電源	UPS に電力を供給する電源。入力商用電源。
入力電源異常	入力電源の電圧が定格仕様外、または周波数が定格仕様外になっている状態。
放電終止	UPS 内部のバッテリ容量が空になり、バッテリ運転が停止した状態。
接続機器	UPS に接続する機器(サーバやパソコンなど)。負荷機器。
負荷	UPS の交流出力に接続する機器を指します。

付録

各部の名称と機能



図 付録-1 外観図

1	RUN LED(緑)	正常時点灯
2	ALARM LED(橙)	カード起動時に点滅(1 秒点灯、1 秒消灯の繰り返し) UPSとの通信エラー時点灯
3	LAN LED(緑)	LAN 接続時点灯、(不通時消灯)
4	RESET スイッチ	プログラム初期化用
5	LAN ポート	RJ-45(EetherNet:10BASE-T,100BASE-TX 自動認識)
6	RS232C ポート	ネットワーク設定用

初期設定方法

本製品はWeb機能、SNMPエージェント機能、リモートシャットダウン機能実装しています。各種設定は 工場出荷時にデフォルトの設定になっていますが、シリアル通信を使用してお客様の使用環境にあった設 定に変更することが出来ます。以下にシリアル通信による設定を説明します。

シリアル(COM ポート)通信による初期設定

Web/SNMP カードの RS-232C ポートを使用してサーバまたはパソコン(OS:Windows で通信ソフトが 起動する環境)から行います。Web/SNMP カードの RS-232C ポートとパソコンまたはサーバの RS-232C ポートを市販の RS-232C クロスケーブルで接続して下さい。

COMポートを経由し PC(パソコン)と1対1の通信により Web/SNMP カードの設定が可能です。



Web/SNMPカード 内蔵 UPS

図 付録-2 設定用接続図

1) 通信ソフトを起動します。

ここではハイパーターミナルを使用した例を示します。

入力が必要なコマンドは全て太文字で記述してあります。

スタートメニューからプログラムのアクセサリからハイパーターミナルを起動し、適当な名前(下記 例では WebCard)を入力し、アイコンを選択して OK を選択します。

接続の設定	<u>? ×</u>
戦 新しい接続	
名前を入力し、アイコンを選んでください。	
名前(N):	
WebCard	
<u>アイコンΦ:</u>	
	DK キャンセル

図 付録-3 ハイパーターミナル接続設定

接続方法に RS-232C ケーブルを接続したポート番号(下記例では COM1)を選び OK を選択します。

接続の設定	<u>? ×</u>			
RepCard WebCard				
電話番号の情報を	入力してください。			
国/地域番号(<u>C</u>):	日本 (81)			
市外局番(E):	0			
電話番号(<u>P</u>):				
接続方法(<u>N</u>):	COM1			
	OK キャンセル			

図 付録-4 ハイパーターミナル 接続

COM	1のプロパティ			?	×
(邪	-トの設定				
	ビット/秒(<u>B</u>):	9600		•	
	データ ビット(<u>D</u>):	8		•	
	パリティ(<u>P</u>):	なし		•	
	ストップ ビット(<u>S</u>):	1		•	
	フロー制御(<u>F</u>):	なし		•	
			既定值	に戻す(<u>R</u>)	
	0	ĸ	キャンセル	適用(為)	

図 付録-5 COM ポートの設定

ポートの通信設定は以下のように設定し OK を選択します。

ビット/秒	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

2) Web/SNMP カードの RESET スイッチを押して下さい。通信が開始されるとターミナル上に以下 の表示が現れます。

注意)

Web/SNMP カードは電源投入後、また RESET スイッチを押下後、約 10 秒間は以下で説明する コマンドの入力が可能(boot モード)ですが、約 10 秒を経過すると通常モードでの起動を開始し ます。初期設定を行う場合は電源投入後、また RESET スイッチ押下後、10 秒以内にコマンドの 入力を行う必要があります。もし、通常モードの起動が開始してしまった場合は、login プロンプト が表示されてから約 1 分後に再度 RESET スイッチを押下して下さい。 通常モードの起動完了には login プロンプトが表示されてから約1分必要です。

MONITOR for Web/SNMP Card	version-1.3.1	build: Jul 03 2003
file system initialize	end	
boot:		

図 付録-6 ターミナル画面1

3) "boot:"のプロンプトが表示されている状態で以下の設定確認用のコマンドを入力して Enter を 押してください。

mon

MONITOR for Web/SNMP Card version-1.3.1 build: Jul 03 2003 file system initialize ... end boot: mon boot>

図 付録-7 ターミナル画面2

4) "boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下の設定確認用のコマンドを入力して Enter を 押してください。

 $\operatorname{sysconf}$ set

5) Web/SNMP カードに設定したい IP Address を入力して Enter で決定します。

MONITOR for Web/SNMP Card version-1.3.1 build: Jul 03 2003 file system initialize ... end boot: mon boot>sysconf set Read system parameters from EEPROM ... Done! IP address [0.0.0.0] > 10.10.10.100 Subnet mask [0.0.0.0] >

図 付録-8 ターミナル画面3

6) 続けて Gateway IP と Subnet Mask を設定します。

```
boot>sysconf set
Read system parameters from EEPROM ... Done!
IP address [0.0.0.0] > 10.10.10.100
Subnet mask [0.0.0.0] > 255.255.255.0
Default Gateway[0.0.0.0] > 10.10.10.1
Write system parameters to EEPROM ... Done!
boot>
```

図 付録-9 ターミナル画面4

7) 以上で IP Address 、Gateway IP、Subnet Mask の設定は完了です。

"boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下の設定確認用のコマンドを入力して Enter を 押してください。

IP Address 、Gateway IP、Subnet Mask の設定が正常に行われていることを確認して下さい。

sysconf view

boot>sysconf view Read system parameters from EEPROM ... Done! IP address : 10.10.10.100 Subnet mask : 255.255.0 Default Gateway : 10.10.10.1 MAC address : 00:40:1a:30:00:00 boot>

図 付録-10 ターミナル画面5

パスワードとユーザ名を変更しない場合は、11)へ進んで下さい。

8) "boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下のパスワード変更用のコマンドを入力して Enter を押してください。

sysconf setpwd

9)変更したいユーザ名を入力します。

確認のため Re-enter で再度ユーザ名を入力します。

注意)

ユーザ名、パスワードは半角8文字以内に設定して下さい。

大文字と小文字は区別されますので、ご注意下さい。

使用文字は半角英数字[A-Z,a-z,0-9]から選択して下さい。

boot>sysconf setpwd Read Password Setting from EEPROM ... Done! User Name (max. 15) [fuji] > fuji Re-enter > fuji

図 付録-11 ターミナル画面6

10) 次にパスワードを設定します。変更したいパスワードを入力して下さい。 確認のため Re-enter で再度パスワードを入力し、"boot>"のプロンプトが 表示されるとユーザ名、パスワードの変更は完了です。

boot>sysconf setpwd Read Password Setting from EEPROM ... Done! User Name (max. 15) [fuji] > fuji Re-enter > fuji Password (max. 15) [********] > **** Re-enter > **** Write Password Setting to EEPROM ... Done! boot>

図 付録-12 ターミナル画面7

11) Web/SNMP カードの起動

boot モードを終了して通常モードを起動するには"boot>"のプロンプトが表示されている状態で以下のコマンドを入力して Enter を押して下さい。

boot

上記コマンドを入力するとWeb/SNMPカードは約1分で通常モードの起動を完了します。 通常モードの起動が完了した後は、WWW クライアントからWeb/SNMPカードへアクセス することが出来ます。

注意)

boot コマンド入力後 Web/SNMP カードは通常起動を開始し、login プロンプトを 表示しますが通常モードの起動が完了するまでには、login プロンプト表示から1分ほど 要します。

Maker's setting



図 付録-13 Maker's Setting



ユーザ名、パスワードを入力し、ログインをクリックしていただいた後、画面の指示に従って操作を行うと、 次の仮面に進むことができます。

リモートメンテナンス設定

設定を行うことにより、故障以外のバッテリ寿命警告、消耗部品寿命警告のメールを送信することができます。また、設定により故障時や、当画面で設定したタイミングで、メーカへメールが送信されます。

UPSリモートメンテナンス設定			
この画面は、バッテリやメンテ部品寿命のメール送信、送信時期、送信可否の設定、 また、UPS取得データの定期メール送信についての設定を行います。 [初期値設定]			
バッテリ寿命設定: 1825 日 (半角数字 0~7500 デフォルト:1825日)寿命カウンタ現在値:1824(日) [カウンタを初期化する			
メンテ部品寿命設定: 1825 日 (半角数字 0~7500 デフォルト:1825日)寿命カウンタ現在値:1824(日) 「カウンタを初期化する			
注)「カウンタを初期化する」をチェックし設定ボタンを押すとバッテリ、メンテ用のカウンタが初期化されます。 バッテリ交換時以外はチェックを入れないようにしてください。			
[監視設定]			
バッテリ残寿命監視設定 90 日前にアラームを送信(半角数字 0~180 デフォルト:90日) 🗹 監視する			
メンテ部品残寿命監視設定 90 日前にアラームを送信(半角数字 0~180 デフォルト: 90日) 🗹 監視する			
- [定期データ送信設定]			
┃ ▼ メールを有効にする。 (ケームを持ちしての使用を設定してくだけ、これも UPC 地路窓生時にたい、これが送付ける 組合け くぶつし 通知設定の いっしにたて いたおうわ マイだけい)			
(チェック時は以下の項目を設定してたさい。またUPS数準発生時にもメールを送信する場合はイベント通知設定のメールにもチェックを入れてくたさい。) メール送信時刻:10:10 (半角数字各2字 デフォルト:10:10)			
メール送信周期: ○毎日			
● 毎週 火 ■ 曜日(デフォルト:火曜日)			
○ 毎月 3 〒日 (デフォルト:3日)			
eメールリモートメンテナンス通知先メールアドレス: (半角英数55字以内、メール特殊文字含む)			
設定 キャンセル 閉じる ほう ちゅうせん おお しょう ちょう しょう しょう ちょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し			

図 付録-14 UPS リモートメンテナンス設定

① 初期値設定

UPS で使用しているバッテリ、消耗部品の寿命の設定が行えます。

デフォルトは1825日に設定してあります。

寿命カウンタ現在値は減算カウンタとなり、カウンタ値が次項「②監視設定」で設定された日数となった時にメールを送信します。

"カウンタを初期化する"にチェックを入れた状態で"設定"ボタンを押下すると、初期値設定 に入力された寿命(日)で寿命カウンタが再設定されます。

② 監視設定

前述の①で設定した寿命に対し、任意の日数前に警告のメールを送信するかどうかの設定 が行えます。デフォルトは 90 日に設定してあります。

③ 定期データ送信設定

ここで設定したタイミングでメーカへ定期的にメールを送信します。 この定期メールのデータはインターネット上でメーカのホームページにて確認できます。 また定期メールを有効にした際は故障時のメールやバッテリ寿命警告のメールもメーカへ送 信されます。

<u>イベントログ記録内容</u>

No	ログ記録内容例		イベント内容
1	Web/SNMPの起動(通常起動)		Web/SNMP カードの起動完了時
2	通信切断		UPS との通信切断時
3	通信復帰		UPS との通信復帰時
4	OSシャットダウン開始		OSシャットダウン開始(Netshut 送信)時
5	OSシャットダウン開始(Sent email OK)		OSシャットダウン開始メール送信成功時
6	OSシャットダウン開始(Sent email NG)		OSシャットダウン開始メール送信失敗時
7	ファームウェア更新終了		ファームウェアの更新完了時
8	リブート開始		ファームウェア更新後のリブート時
9	UPS 給電開始		給電状態が UPS(インバータ等)からの給電に変化
10	バッテリ給電開始		給電状態がバッテリからの給電に変化
11	バイパス給電開始		給電状態がバイパスからの給電に変化
12	給電停止		給電状態が停止に変化
13	入力異常発生	※ 1	交流入力電圧が許容範囲外に変化
14	入力異常解除	※ 1	交流入力電圧が許容範囲内に復帰
15	過負荷発生	※ 1	UPSの出力負荷率が100%を超過
16	過負荷解除	※ 1	UPSの出力負荷率が100%以内に復帰
17	UPS 軽故障発生(バッテリ異常)	※ 1、 ※ 3	バッテリに軽故障が発生
18	UPS 軽故障発生(その他の異常)	※ 1、 ※ 3	No.9 以外の軽故障が発生
19	UPS 重故障発生(出力異常)	※ 1、 ※ 4	UPS 出力に重故障が発生
20	UPS 重故障発生(主回路異常)	※ 1、 ※ 4	パワー回路に重故障が発生
21	UPS 重故障発生(ヒューズ断)	₩1, ₩4	メインヒューズが溶断する重故障が発生
22	UPS 重故障発生(ファン異常)	※ 1、 ※ 4	UPS 内部温度異常である重故障が発生
23	UPS 重故障発生(制御異常)	₩1, ₩4	制御装置に重故障が発生

24	UPS 重故障発生(その他の異常)	※ 1、 ※ 4	No.11~15 以外の重故障が発生
25	バイパス異常発生	※ 3	バイパス入力電圧が許容範囲外に変化
26	バッテリ容量低下		バッテリ電圧がバッテリ注意レベルまで低下
27	バッテリ容量復活		バッテリ電圧がバッテリ注意レベル異常に復帰
28	バッテリ交換警告		バッテリ交換時期到達時
29	イベントメール送信(Sent email OK)	※ 2	イベントメール送信成功時
30	イベントメール送信(Sent email NG)	※ 2	イベントメール送信失敗時

※1 3.6.7イベント通知設定画面で[ログ]にチェックがしてある場合に記録します。

※2 3.6.7イベント通知設定画面で[メール]にチェックがしてある場合に記録します。

※3 同時に複数の故障が発生している場合イベントログには

その他の故障>バッテリ異常>バイパス異常

の優先度で、優先度の一番高いものだけが記録されます。

※4 同時に複数の異常が発生している場合イベントログには

その他の異常>制御異常>ファン異常>ヒューズ断>主回路異常>出力異常

の優先度で、優先度の一番高いものだけが記録されます。

No	ログ記録内容例	イベント内容
1	定期メール送信(Sent email OK)	定期メール送信成功時
2	定期メール送信(Sent email NG)	定期メール送信失敗時
3	バッテリ寿命警告(Sent email OK)	バッテリ寿命警告メール送信成功時
4	バッテリ寿命警告(Sent email NG)	バッテリ寿命警告メール送信失敗時
5	メンテ部品寿命警告(Sent email OK)	メンテ部品寿命警告メール送信成功時
6	メンテ部品寿命警告(Sent email NG)	メンテ部品寿命警告メール送信失敗時

下記のイベントログは Maker's Setting で設定された場合に記録されます。

<u>Web/SNMP カード対応 JEMA- MIB 一覧</u>

対応 JEMA -MIB 一覧

識別子(JEMA MIB)	名 前	Read/ Write	備考
1.1.1.0	upsIdentManufacturer	read-only	UPS 製造業者名称
1.1.2.0	jemaUpsIdentModel	read-only	UPS モデル名称
1.1.3.0	jemaUpsIdentUPSSoftware Version	read-only	UPS ファームウェア及びソフトウェアバー ジョン
1.1.4.0	jemaUpsIdentAgentSoftware Version	read-only	Web/SNMP カードのファームウェアバー ジョン
1.1.5.0	jemaUpsIdentName	read-only	UPS 識別用文字列 設定は可能だが MIB アクセスの読み込み のみ反映され、Web 画面、メール本文等に は反映されない
1.1.6.0	${\sf jemaUpsIdentAttachedDevices}$	read-only	UPSの出力に接続されている機器の識別 用文字列 設定は可能だが MIB アクセスの読み込み のみ反映され Web 画面及びメール本文等 には反映されない
1.1.7.0	jemaUpsIdentManufactured Data	read-only	UPS の製造年月日 (MM/DD/YYYY 形式で表示)
1.1.8.0	jemaUpsIdentManufactured Number	read-only	UPS の 製造番号
1.2.1.0	jemaUpsBatteryStatus	read-only	UPS のバッテリの残存容量 1:不明 2:バッテリ正常 3:バッテリ容量低下 4:パッテリ完全放電
1.2.2.0	jemaUpsSecondsOnBattery	read-only	バックアップを開始してからの経過時間 バックアップ運転中以外は 0 を返す
1.2.3.0	jemaUpsEstimatedMinutes Remaining	read-only	現在の負荷状態において予測されるバッ クアップ可能残時間 【制限】定格時におけるバックアップ可能時 間を示す
1.2.4.0	jemaUpsEstimatedCharge Remaining	read-only	満充電に対する%表示として予測される バッテリ残充電容量
1.2.5.0	jemaUpsBatteryVoltage	read-only	バッテリ電圧値
1.2.6.0	jemaUpsBatteryCurrent	read-only	バッテリ電流値 (+充電/回生電流、-放電電流を示す)
1.2.7.0	jemaUpsBatteryTemperature	read-only	バッテリ温度又はその周辺温度 【制限】1111 の場合は非サポート
1.2.8.0	jemaUpsBatteryLast ReplaceDate	read-only	バッテリ交換年月日 (MM/DD/YYYY 形式で表示)
1.2.9.0	jemaUpsBattery ReplaceIndicator	read-only	バッテリ交換警告 1:不明 2:交換不要 3:交換要
1.2.10.0	jemaUpsBatteryLife TimeRemaining	read-only	予測されるバッテリ交換残期間(月数)
1.3.1.0	jemaUpsInputLineBads	read-only	UPS への入力電圧が仕様範囲外に なった回数

		-	
1.3.2.0	jemaUpsInputNumLines	read-only	入力相数 O:不明 2:単相 2 線 3:単相 3 線、三相 3 線 4:三相 4 線
1.3.3.1.2.1	jemaUpsInputFrequency	read-only	入力周波数
1.3.3.1.3.1	jemaUpsInputVoltage	read-only	入力電圧
1.3.3.1.4.1	jemaUpsInputCurrent	read-only	入力電流
1.3.3.1.5.1	jemaUpsInputTruePower	read-only	入力電力値
1.3.3.1.6.1	jemaUpsInputPhase	read-only	入力相数 1:不明 2:単相2線 3:単相3線 4:三相3線 5:三相4線
1.3.3.1.7.1	jemaUpsInputVoltage1	read-only	入力電圧(実効値) ただし、-1 の場合は不明
1.3.3.1.8.1	jemaUpsInputVoltage2	read-only	入力電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.3.3.1.9.1	jemaUpsInputVoltage3	read-only	入力電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.3.3.1.10.1	jemaUpsInputCurrent1	read-only	入力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.3.3.1.11.1	jemaUpsInputCurrent2	read-only	入力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.3.3.1.12.1	jemaUpsInputCurrent3	read-only	入力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.3.3.1.13.1	jemaUpsInputCurrent4	read-only	入力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.1.0	jemaUpsOutputSource	read-only	出力への電源供給状態 出力供給源 1:不明 2:供給源なし(UPS 出力停止中) 3:正常状態 4:バイパス 5:バックアップ(バッテリ運転)
1.4.2.0	jemaUpsOutputFrequency	read-only	出力周波数
1.4.3.0	jemaUpsOutputNumLines	read-only	出力相数 O:不明 2:単相2線 3:単相3線、三相3線 4:三相4線
1.4.4.1.2.1	jemaUpsOutputVoltage	read-only	出力電圧(実効値)
1.4.4.1.3.1	jemaUpsOutputCurrent	read-only	出力電流値(実効値)
1.4.4.1.4.1	jemaUpsOutputPower	read-only	出力電力値
1.4.4.1.5.1	jemaUpsOutputPercentLoad	read-only	出力負荷率 (UPS 定格出力電力に対する実際の出力 電力の割合)
1.4.4.1.6.1	jemaUpsOutputStatus	read-only	出力への電源供給状態 1:不明 2:給電停止 3:給電中

1.4.4.1.7.1	jemaUpsOutputPhase	read-only	出力相数 1:不明 2:単相2線 3:単相3線 4:三相3線 5:三相4線
1.4.4.1.8.1	jemaUpsOutputVoltage1	read-only	出力電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.9.1	jemaUpsOutputVoltage2	read-only	出力電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.10.1	jemaUpsOutputVoltage3	read-only	出力電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.11.1	jemaUpsOutputCurrent1	read-only	出力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.12.1	jemaUpsOutputCurrent2	read-only	出力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.13.1	jemaUpsOutputCurrent3	read-only	出力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.14.1	jemaUpsOutputCurrent4	read-only	出力電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.15.1	jemaUpsOutputPercentLoad1	read-only	負荷率(UPS 定格出力電力に対する 実際の出力電力の割合) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.16.1	jemaUpsOutputPercentLoad2	read-only	負荷率(UPS 定格出力電力に対する 実際の出力電力の割合) ただし、−1 の場合は不明
1.4.4.1.17.1	jemaUpsOutputPercentLoad3	read-only	負荷率(UPS 定格出力電力に対する 実際の出力電力の割合) ただし、−1 の場合は不明
1.5.1.0	jemaUpsBypassFrequency	read-only	バイパス周波数
1.5.2.0	jemaUpsBypassNumLines	read-only	バイパス相数 O:不明 2:単相2線 3:単相3線、三相3線 4:三相4線
1.5.3.1.2.1	jemaUpsBypassVoltage	read-only	バイパス電圧(実効値)
1.5.3.1.3.1	jemaUpsBypassCurrent	read-only	バイパス電流値(実効値)
1.5.3.1.4.1	jemaUpsBypassPower	read-only	バイパス電力値
1.5.3.1.5.1	jemaUpsBypassPhase	read-only	バイパス相数 1:不明 2:単相2線 3:単相3線 4:三相3線 5:三相4線
1.5.3.1.6.1	jemaUpsBypassVoltage1	read-only	バイパス電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.5.3.1.7.1	jemaUpsBypassVoltage2	read-only	バイパス電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.5.3.1.8.1	jemaUpsBypassVoltage3	read-only	バイパス電圧(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.5.3.1.9.1	jemaUpsBypassCurrent1	read-only	バイパス電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.5.3.1.10.1	jemaUpsBypassCurrent2	read-only	バイパス電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.5.3.1.11.1	jemaUpsBypassCurrent3	read-only	バイパス電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明

1.5.3.1.12.1	jemaUpsBypassCurrent4	read-only	バイパス電流(実効値) ただし、−1 の場合は不明
1.6.1.0	jemaUpsAlarmFatalFault Status	read-only	重故障状態 UPS の重故障状態を示す -1:重故障なし 1:出力異常 2:主回路故障 3:ヒューズ断 4:ファン故障 5:制御故障 6:バッテリ異常 7~999:予約 1000:その他の重故障
1.6.2.0	jemaUpsAlarmFatalFault Detail	read-only	故障状態 O:故障無し 1:重故障発生 2:軽故障発生中
1.6.3.0	jemaUpsAlarmFaultStatus	read-only	軽故障状態 UPSの軽故障状態を示す -1:軽故障なし 1:入力異常 2:バイパス異常 3:バッテリ異常 4~999:予約 1000:その他の軽故障
1.6.4.0	jemaUpsAlarmFaultDetail	read-only	軽故障詳細情報
1.6.5.0	jemaUpsAlarmWarningStatus	read-only	UPS 警告状態 UPS の警告状態を示す -1:警告なし 1:警告発生中 警告条件 (入力異常 or 過負荷 or 温度異常)
1.6.6.0	jemaUpsAlarmWarningDetail	read-only	警告詳細情報 複合条件の時は「入力異常 > 過負荷 > 温度異常」の優先順位で表示 警告なし時は長さ0の文字列を返す
1.6.7.0	jemaUpsAlarmCautionDetail	read-only	注意詳細情報 【制限】非サポート
1.6.8.0	jemaUpsAlarmInputBadStatus	read-only	入力異常状態 UPSの入力異常状態を示す -1:入力異常なし 1:入力異常発生中
1.6.9.0	jemaUpsAlarmInputBadDetail	read-only	入力異常詳細情報 jemaUpsAlarmInputBadStatus が1の 時「Power Failure or Abnormal Input Voltage」を返す
1.6.10.0	jemaUpsAlarmOutput OverloadStatus	read-only	出力過負荷状態 UPSの出力過負荷状態を示す -1:出力過負荷なし 1:出力過負荷発生中
1.6.11.0	jemaUpsAlarmBattery BadStatus	read-only	バッテリ異常状態 バッテリの劣化などの異常を示す −1:バッテリ異常なし 1:バッテリ異常発生中
1.6.12.0	jemaUpsAlarmBattery BadDetail	read-only	バッテリ異常詳細情報 jemaUpsAlarmBatteryBadStatus が1 の時「Battery Low or Weak」を返す

1.6.13.0	jemaUpsAlarmTempBadStatus	read-only	温度異常状態 UPS 内部又は関連する場所の 温度状態を示す -1:温度異常なし 1:温度異常発生中
1.6.14.0	jemaUpsAlarmTempBadDetail	read-only	温度異常詳細情報 jemaUpsAlarmTempBadStatus が1の 時「UPS temperature exceed」を返す
1.7.1.0	jemaUpsTestld	read-only	【制限】 常に「jemaUpsTestNoTestsInitiated」を返 す テスト ID(テスト名称)
1.7.2.0	jemaUpsTestSpinLock	read-only	【制限】 常に1を返す テスト・サブシステム上の排他制御
1.7.3.0	jemaUpsTestResultsSummary	read-only	 最後に実行された UPS 診断テスト結果 1:正常終了 2:警告 3:エラー 4:中断 5:実行中 6:実行されたものなし 警告又はエラーの場合は jemaUpsTestResultsDetailで詳細 情報を得ることができる。
1.7.4.0	jemaUpsTestResultsDetail	read-only	【制限】 常に長さ0 の文字列を返す テスト結果追加情報
1.7.5.0	jemaUpsTestStartTime	read-only	【制限】 常に Timeticks で 0 を返す テスト開始時間
1.7.6.0	jemaUpsTestElapsedTime	read-only	【制限】 常に Timeticks で 0 を返す テスト経過時間
1.8.1.0	jemaUpsShutdownType	read-only	【制限】常に2を返す 全出力がオフになったときの,UPSのシャッ トダウンタイプ 1 :出力 OFF 2 :全停止
1.8.2.0	JemaUpsOutputControl NumLine	read-only	【制限】 常に1を返す 出力制御ライン数(系統数)
1.8.3.1.2.1	jemaUpsShutdownAfterDelay	read-only	【制限】常に-1を返す 出力停止ディレー 設定された時間後に出力を停止する 設定値を0にすると、出力停止が実行 設定値-1にするとカウントダウンが中断 停止動作(イベント)設定のUPS出力停止 遅延時間より短い値を設定しても、停止動 作(イベント)設定でのUPS出力停止遅延 時間でUPSの出力は停止します。
1.8.3.1.3.1	jemaUpsStartupAfterDelay	read-only	【制限】常に-1を返す 出力開始ディレー 設定された時間後に出力を再開 設定を0にすると、出力が再開 -1にするとカウントダウンが中断

1.8.3.1.4.1	${\sf jemaUpsRebootWithDuration}$	read-only	【制限】常に-1を返す 出力再起動ディレー UPS は停止動作(イベント)設定の UPS 出力停止遅延時間で出力を停止し、 設定された時間後に UPS は出力を再開
1.8.3.1.5.1	jemaUpsAutoRestart	read-only	放電終止後のインバータ負荷給電機能 (出力オートリスタート設定) 1 :オン(自動で出力開始) 2 :オフ(マニュアルで出力開始)
1.9.1.0	${\it jemaUpsConfigInputVoltage}$	read-only	公称入力電圧(装置定格)
1.9.2.0	${ m jemaUpsConfigInputFreq}$	read-only	公称入力周波数(装置定格)
1.9.3.0	jema Ups Config Output Voltage	read-only	公称出力電圧(装置定格)
1.9.4.0	${\it jemaUpsConfigOutputFreq}$	read-only	公称出力周波数(装置定格)
1.9.5.0	jemaUpsConfigOutputVA	read-only	公称出力皮相電力定格(装置定格)
1.9.6.0	${\sf jemaUpsConfigOutputPower}$	read-only	公称出力電力定格(装置定格)
1.9.7.0	jemaUpsConfigLowBattTime	read-only	jemaUpsBatteryStatus の batteryLow (3)を宣言するための jemaUps ⁻ EstimatedMinutesRemaining の値
1.9.8.0	jemaUpsConfigAudibleStatus	_	【未サポート】アクセス不可 ブザー動作の有効無効 1 :無効 2 :有効 3 :中断
1.9.9.0	jemaUpsConfigLowVoltageTra nsferPoint	read-only	入力低電圧切換値 入力電圧が指定電圧以下となったら UPS はバッテリ運転に切換わる
1.9.10.0	jemaUpsConfigHighVoltage TransferPoint	read-only	入力高電圧切換値 入力電圧が指定電圧異常となったら UPS はバッテリ運転に切換わる
1.9.11.0	jemaUpsConfigTransferTrap Control	read-only	 【制限】常に4を返す トラップ送出レベル 重要度に応じてトラップ送出の有無を設定する 1:重故障のみ送出 2:重故障,軽故障,軽故障回復を送出 3:重故障,軽故障,軽故障回復、警告、 警告回復を送出 4:すべてのトラップを送出 jemaUpsTrapAny 制御 Trap の送出を制御する
1.9.12.0	Control	read-only	1 :jemaUpsTrapAny の送出無効 2 :jemaUpsTrapAny の送出有効 3 :jemaUpsTrapAny の送出中止
1.9.13.0	jemaUpsConfigInterval TrapTime	read-only	【制限】 5 秒固定 Trap 送出間隔

※ Write は UPS 本体で受け付けないので全て read-only となります。

対応 JEMA -MIB(Trap)一覧

識別子 (JEMA MIB Trap)	名前	備考
2	jemaUpsTraps	-
2.0	Cold start (Generic trap)	Web/SNMP カード起動完了
2.1	jemaUpsTrapOnBattery	UPS は、バックアップ運転中 このトラップは UPS が停止するか、又は、バックアップ 運転が解除されるまで1分間隔で送信される
2.2	jemaUpsTrapTestCompleted	UPS テスト完了を通知する。 テスト結果は UpsTestResultSummary を参照するこ とによって得られる
2.3	jemaUpsTrapInputBad	UPS への入力電圧が仕様範囲外
2.4	jemaUpsTrapInputBadRemoved	UPS への入力電圧が仕様範囲外から復帰
2.5	jemaUpsTrapBatteryLow	バッテリ電圧注意(バッテリ運転中の電圧低下)
2.6	jemaUpsTrapOutputOverload	UPS 出力が過負荷
2.7	${\it jemaUpsTrapOutputOverloadRemoved}$	UPS 出力の過負荷から復帰
2.8	jemaUpsTrapBatteryBad	バッテリ寿命(残寿命=0)
2.9	jemaUpsTrapTempBad	温度異常
2.10	jemaUpsTrapTempBadRemoved	温度異常からの復帰
2.11	jemaUpsTrapCommunicationsLost	Web/SNMP カードと UPS 間の通信異常発生
2.12	${\tt jemaUpsTrapCommunicationsLostRemoved}$	Web/SNMP カードと UPS 間の通信異常から復帰
2.13	jemaUpsTrapConfigChange	【未サポート】発生しない
2.14	jemaUpsTrapFatalFault	UPS に重故障発生 UPS にバックアップ運転が不可能となる重故障が発生 した時に通知
2.15	jemaUpsTrapFault	UPS に 軽故 障発 生
2.16	jemaUpsTrapFaultRemoved	UPS の軽故障からの回復
2.17	jemaUpsTrapWarning	【未サポート】発生しない UPS からの警告発生 (入力異常 or 過負荷 or 温度異常発生時)
2.18	jemaUpsTrapWarningRemoved	【未サポート】発生しない UPS の警告から復帰 (入力異常 or 過負荷 or 温度異常から復帰時)
2.19	jemaUpsTrapCaution	【未サポート】発生しない UPS からの注意情報発生
2.20	jemaUpsTrapAny	【未サポート】発生しない その他のトラップ
<u>MIB-II 対応一覧</u>

識別子	名前	Read/Write	備考
1.3.6.1.2.1.1.1.0	sysDescr	read-only	エンティティの情報 "Web/SNMP Card"(固定)
1.3.6.1.2.1.1.2.0	sysObjectID	read-only	ベンダーのOID ".1.3.6.1.4.1.7508"(固定)
1.3.6.1.2.1.1.3.0	sysUpTime	read-only	ネットワーク部分が最後に初期化されてからの時間
1.3.6.1.2.1.1.4.0	sysConTact	read-write	ノード管理者の名前 初期値 空白
1.3.6.1.2.1.1.5.0	sysName	read-write	ノード管理用の名前(ドメイン名) 初期値 "Fuji Electric"
1.3.6.1.2.1.1.6.0	sysLocation	read-write	ノードの場所 初期値 空白
1.3.6.1.2.1.1.7.0	sysServices	read-only	提供するサービス 72(固定)
1.3.6.1.2.1.1.8.0	sysORLastChange	read-only	ネットワーク部分が最後に初期化されてからの時間(SNMPv2 OID)
1.3.6.1.2.1.1.9.1.2	sysORID	read-only	ベンダーのOID ".1.3.6.1.4.1.7508"(固定) (SNMPv2 OID)
1.3.6.1.2.1.1.9.1.3	sysORDescr	read-only	エンティティの情報 "SNMP Agent"(固定) (SNMPv2 OID)
1.3.6.1.2.1.1.9.1.4	sysORUpTime	read-only	ネットワーク部分が最後に初期化されてからの時間(SNMPv2 OID)
1.3.6.1.2.1.2.1.0	IfNumber	read-only	インタフェースの数 1(固定)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.1.1	IfIndex	read-only	インタフェースに割り当てられる固有の値 1(固定)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.2.1	IfDescr	read-only	インタフェースに関する記述 "LAN0"(固定)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.3.1	IfType	read-only	インタフェースのタイプ 6(固定)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.4.1	IfMTU	read-only	送受信可能な最大 IP データグラム 1500(固定)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.5.1	IfSpeed	read-only	インタフェースの通信速度(bbs)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.6.1	IfPhysAddress	read-only	インタフェースの MAC アドレス
1.3.6.1.2.1.2.2.1.7.1	IfAdminStatus	read-only	インタフェースの設定
1.3.6.1.2.1.2.2.1.8.1	IfOperStatus	read-only	現在のインタフェース状態
1.3.6.1.2.1.2.2.1.9.1	IfLastChange	read-only	インタフェースが現在の状態になったときの sysUpTimeの値。サブステムの初期化が終る前 に、現在の状態になった場合、値は0になる。
1.3.6.1.2.1.2.2.1.10.1	IfInOctets	read-only	インタフェースが受信した総バイト数
1.3.6.1.2.1.2.2.1.11.1	IfInUcastPkts	read-only	インタフェースが受信したパケットのパケット総数
1.3.6.1.2.1.2.2.1.12.1	IfInNUcastPkts	read-only	インタフェースが受信した非ユニキャストパケット 数
1.3.6.1.2.1.2.2.1.13.1	IfInDiscards	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.14.1	IfInErrors	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.15.1	IfInUnknownProtos	read-only	プロトコルが未知、またはサポートしていない為 に破棄されたパケット数
136121221161	IfOutOctets	read-only	インタフェースが送信した総バイト数
		i cad only	インタフェースが送信したユニキャストパケットの
1.3.6.1.2.1.2.2.1.17.1	IfOutUcastPkts	read-only	パケット総数 (破棄されたパケットも含まれる)

			インタフェースが送信した非ユニキャストパケット
1.3.6.1.2.1.2.2.1.18.1	IfOutNUcastPkts	read-only	のパケット総数
126121221101	IfQutDispords	rood-only	(収集さんしこへ) ツトもさよんの)
1.2.6.1.2.1.2.2.1.19.1	IfOutErroro	read-only	* 木刈心(吊に 0 を返り)
1.3.0.1.2.1.2.2.1.20.1	nouterrors	read-only	~ 木刈心(吊に 0 を返り) 逆信待たのパケットの長さ(単位けパケット)
1.3.6.1.2.1.2.2.1.21.1	IfOutQLen	read-only	80(固定)
100101001001	100 10		インタフェースの追加情報
1.3.6.1.2.1.2.2.1.22.1	ItSpecific	read-only	".0.0.0"(固定)
136121410	InForwarding	read-only	ゲートウェイとして動作し、パケット中継がされかを表示
1.0.0.1.2.1.1.1.0	the of war all g	read only	2(固定)
136121420	InDefaultTTI	read-only	IP ヘッダーの生存時間フィールド
1.0.0.1.0.1.1.0.0		i caa oniy	32(固定)
1.3.6.1.2.1.4.3.0	IpInReceives	read-only	受信した IP アータクフム数
1.3.6.1.2.1.4.4.0	IpInHdrErrors	read-only	IP ハッダにエラールめる為に廃来されにインノッ トデータグラムの数
126101450		used subs	IP ヘッダの宛先フィールドのアドレスが無効な値
1.3.0.1.2.1.4.5.0	IpInAddrErrors	read-only	になっているインプットデータグラムの数
1.3.6.1.2.1.4.6.0	IpForwDatagrams	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.7.0	IpInUnknownProtos	read-only	未知またはサボートしていないプロトコルが原因 で破棄されたパケットの数
100101400			エラー以外の理由で破棄されたパケット数(受信
1.3.6.1.2.1.4.8.0	IpInDiscards	read-only	バッファの超過など)
1.3.6.1.2.1.4.9.0	IpInDelivers	read-only	IP のユーザプロトコル(ICMP を含む)に正常に
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		渡されたインブットテータグラムの数
1.3.6.1.2.1.4.10.0	IpOutRequests	read-only	から IP に渡された IP データグラムの数
1.3.6.1.2.1.4.11.0	IpOutDiscards	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.12.0	IpOutNoRoutes	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.13.0	IpReasmTimeout	read-only	*未対応(常に"3"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.14.0	IpReasmRegds	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.15.0	IpReasmOKs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.16.0	IpReasmFails	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.17.0	IpFlagOKs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.4.18.0		read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1361214190		read-only	*未対応(常に"0"を返す)
13612142011	IpAdEntAddr	read-only	Web/SNMPカードの IP アドレス
13612142012	InAdEntIfIndex	read-only	対応するネットワーク Idx (ifIndex の値)
13612142013	In AdEnt Net Mask	read-only	Web/SNMPカードのサブネットマスク
1.0.0.1.2.1.1.20.1.0	ip/dentrocimask	read only	T_{O} IP T_{V} T_{O} T_{O} T_{O} T_{O}
1.3.6.1.2.1.4.20.1.4	IpAdEntBcastAddr	read-only	下位ビット
1.3.6.1.2.1.4.20.1.5	IpAdEntReasmMaxSize	read-only	処理できる IP データグラムの最大サイズ
1.3.6.1.2.1.4.22.1.1.0	IpNetToMediaIfIndex	read-only	有効となるインタフェース(ifIndex)
1.3.6.1.2.1.4.22.1.2.0	IpNetToMediaPhysAddress	read-only	MAC アドレス
1.3.6.1.2.1.4.22.1.3.0	IpNetToMediaNetAddress	read-only	IP アドレス
136121422140		read-only	マッピングのタイプ
		roud only	4:スタティック(固定)
1.3.6.1.2.1.4.23.0	IpRoutingDiscards	read-only	*未対応(常に~0~を返す)
1.3.6.1.2.1.5.1.0	IcmpInMsgs	read-only	ICMP メッセーンの受信総数
1.3.6.1.2.1.5.2.0	IcmpInErrors	read-only	エラーであった ICMP メッセージの受信数
1.3.6.1.2.1.5.3.0	IcmpInDestUnreachs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.4.0	IcmpInTimeExcds	read-only	* 未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.5.0	IcmpInParmProbs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.6.0	IcmpInSrcQuenchs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.7.0	IcmpInRedirects	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.8.0	IcmpInEchos	read-only	ICMP Echo 要求メッセージの受信数
1.3.6.1.2.1.5.9.0	IcmpInEchoReps	read-only	ICMP Echo 応答メッセージの受信数
1.3.6.1.2.1.5.10.0	IcmpInTimestamps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.11.0	IcmpInTimestampReps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)

1.3.6.1.2.1.5.12.0	IcmpInAddrMasks	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.13.0	IcmpInAddrMaskReps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.14.0	IcmpOutMsgs	read-only	ICMP メッセージの出力総数
1.3.6.1.2.1.5.15.0	IcmpOutErrors	read-only	ICMP の問題で送信できなかった出力メッセージ数
1.3.6.1.2.1.5.16.0	IcmpOutDestUnreachs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.17.0	IcmpOutTimeExcds	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.18.0	IcmpOutParmProbs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.19.0	IcmpOutSrcQuenchs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.20.0	IcmpOutRedirects	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.21.0	IcmpOutEchos	read-only	ICMP Echo 要求メッセージの出力数
1.3.6.1.2.1.5.22.0	IcmpOutEchoReps	read-only	ICMP Echo 応答メッセージの出力数
1.3.6.1.2.1.5.23.0	IcmpOutTimestamps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.24.0	IcmpOutTimestampReps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.25.0	IcmpOutAddrMasks	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.5.26.0	IcmpOutAddrMaskReps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.6.1.0	TcpRtoAlgorithm	read-only	再転送タイムアウト値を計算するアルゴリズム 2(固定)
1.3.6.1.2.1.6.2.0	TcpRtoMin	read-only	タイムアウトの最小値 5000(固定)
1.3.6.1.2.1.6.3.0	TcpRtoMax	read-only	タイムアウトの最大値 15000(固定)
1.3.6.1.2.1.6.4.0	TcpMaxConn	read-only	TCP 最大接続数 64(固定)
1.3.6.1.2.1.6.5.0	TcpActiveOpens	read-only	TCP 接続が CLOSED 状態から SYS-SENT に 移行した回数
1.3.6.1.2.1.6.6.0	TcpPassiveOpens	read-only	TCP 接続が LISTEN 状態から SYS·REVD に 移行した回数
1.3.6.1.2.1.6.7.0	TcpAttermptFails	read-only	TCP 接続が失敗した回数
1.3.6.1.2.1.6.8.0	TcpEstabResets	read-only	リセットされた回数
1.3.6.1.2.1.6.9.0	TcpCurrEstab	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.6.10.0	TcpInSegs	read-only	受信したセグメントの総数
1.3.6.1.2.1.6.11.0	TcpOutSegs	read-only	送信したセグメントの総数
1.3.6.1.2.1.6.12.0	TcpRetransSegs	read-only	再転送したセグメントの総数
1.3.6.1.2.1.6.13.1.1	TcpConnState	read-only	TCP 接続の状態 2:LISTEN 3:SYN_SENT 5:ESTABLISHED 10:CLOSING
1.3.6.1.2.1.6.13.1.2	TcpConnLocalAddress	read-only	TCP 接続のローカル IP アドレス
1.3.6.1.2.1.6.13.1.3	TcpConnLocalPort	read-only	TCP 接続のローカルポート番号
1.3.6.1.2.1.6.13.1.4	TcpConnRemAddress	read-only	TCP 接続のリモート IP アドレス
1.3.6.1.2.1.6.13.1.5	TcpConnRemPort	read-only	TCP 接続のリモートポート番号
1.3.6.1.2.1.6.14.0	TcpInErrs	read-only	受信したセグメントの内エラーだった総数
1.3.6.1.2.1.6.15.0	TcpOutRsts	read-only	送信したセグメントの内 RTS フラグを含むものの 総数
1.3.6.1.2.1.7.1.0	UdpInDatagrams	read-only	UDP ユーザに送信された UDP データグラムの 総数
1.3.6.1.2.1.7.2.0	UdpNoPorts	read-only	受信した UDP データグラムのうち、対応するアプ リケーションが受信あて先ポートになかったもの の総数
1.3.6.1.2.1.7.3.0	UdpInErrors	read-only	受信後、配信できなかった UDP データグラムの うちアプリケーションが受信あて先ポートに無かっ たものを除いた数
1.3.6.1.2.1.7.4.0	UdpOutDatagrams	read-only	配信した UDP データグラムの総数
1.3.6.1.2.1.7.5.1.1	UdpLocalAddress	read-only	UDP リスナーのローカル IP アドレス
1.3.6.1.2.1.7.5.1.2	UdpLocalPort	read-only	UDPリスナーのローカルポート
1.3.6.1.2.1.11.1.0	SnmpInPkts	read-only	カードに配信された(カードが受信した)メッセー

1.3.6.1.2.1.11.2.0	SnmpOutPkts	read-only	カードから送信したメッセージの総数
1.3.6.1.2.1.11.3.0	SnmpInBadVersions	read-only	サポートしていない SNMP バージョンの SNMP メッセージの受信件数
1.3.6.1.2.1.11.4.0	SnmpInBadCommunityNames	read-only	未知のコミュニティネームのメッセージ受信件数
1.3.6.1.2.1.11.5.0	SnmpInBadCommuniUses	read-only	メッセージ内の SNMP コミュニティ名で許可され ていない SNMP 操作を示すメッセージの受信件 数
1.3.6.1.2.1.11.6.0	SnmpInASNParseErrs	read-only	ASN.1エラーまたは BER エラーの総数
1.3.6.1.2.1.11.8.0	SnmpInTooBigs	read-only	受信した SNMP の「tooBig」エラーの総数
1.3.6.1.2.1.11.9.0	SnmpInNoSuchNames	read-only	受信した SNMP の「noSuchName」エラーの 総数
1.3.6.1.2.1.11.10.0	SnmpInBadValues	read-only	受信した SNMP の「BadValue」エラーの総数
1.3.6.1.2.1.11.11.0	SnmpInReadOnlys	read-only	受信した SNMP の「readOnly」エラーの総数
1.3.6.1.2.1.11.12.0	SnmpInGenErrs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.13.0	SnmpInTotalReqVars	read-only	とりださせた MIB オブジェクトの総数
1.3.6.1.2.1.11.14.0	SnmpInTotalSetVars	read-only	変更された MIB オブジェクトの数
1.3.6.1.2.1.11.15.0	SnmpInGetRequests	read-only	受信し、処理した SNMPGetNedxtPDU の総数
1.3.6.1.2.1.11.16.0	SnmpInGetNexts	read-only	受信した Get-Next PDU の総数
1.3.6.1.2.1.11.17.0	SnmpInSetRequests	read-only	受信した Set-Request の総数
1.3.6.1.2.1.11.18.0	SnmpInGetResponses	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.19.0	SnmpInTraps	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.20.0	SnmpOutTooBigs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.21.0	SnmpOutNoSuchNames	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.22.0	SnmpInOutBadValues	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.24.0	SnmpOutGenErrs	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.25.0	SnmpOutGetRequests	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.26.0	SnmpOutGetNexts	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.27.0	SnmpOutSetRequests	read-only	*未対応(常に"0"を返す)
1.3.6.1.2.1.11.28.0	SnmpOutGetResponses	read-only	送信した SNMP Get-Response PDU の総数
1.3.6.1.2.1.11.29.0	SnmpOutTraps	read-only	送信した SNMP Trap PDU の総数
1.3.6.1.2.1.11.30.0	SnmpEnableAuthenTraps	read-only	*未対応(常に"2"を返す)

シャットダウンソフトウェア(Netshut)について

Netshut は、同一ネットワーク(TCP/IP)上に存在する複数台のサーバのOSシャットダウンを可能にしま す。複数台のサーバに Netshut モジュールをインストールする場合は、各サーバ毎に異なったキーコード が必要です。